

I 神奈川県工業生産の動向

1 概要 ―生産指数は前年比△1.0%と4年ぶりに低下―

(1) 生産の動向

生産指数（原指数）は、110.6 で前年比 1.0%低下し、4 年ぶりに低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、Ⅰ期は前期比 1.0%上昇し 2 期連続の上昇、Ⅱ期は同 6.2%低下、Ⅲ期も同 1.3%低下、Ⅳ期は同 10.6%上昇しました。

＜全国及び局管内の動き＞

全国の製造工業指数（原指数）は、101.2 で前年比 2.7%低下し、3 年連続して低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、Ⅰ期は前期比 4.9%低下し 2 期ぶりの低下、Ⅱ期は同 1.6%上昇、Ⅲ期も同 0.6%上昇、Ⅳ期も同 0.2%上昇しました。

関東経済産業局管内の製造工業指数（原指数）は、101.7 で前年比 2.7%低下し、2 年連続して低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、Ⅰ期は前期比 2.2%低下し 2 期ぶりの低下、Ⅱ期も同 0.4%低下、Ⅲ期も同 0.6%低下、Ⅳ期は同 0.6%上昇しました。

(2) 出荷の動向

出荷指数（原指数）は、106.7 で前年比 3.4%低下し、4 年ぶりに低下しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、Ⅰ期は前期比 0.3%低下し 2 期ぶりの低下、Ⅱ期も同 4.9%低下、Ⅲ期も同 2.2%低下、Ⅳ期は同 7.9%上昇しました。

(3) 在庫の動向

在庫指数（原指数）は、94.0 で前年末比 2.4%上昇し、2 年ぶりに上昇しました。

四半期別（季節調整済指数）にみると、Ⅰ期は前期末比 1.7%上昇し 6 期ぶりの上昇、Ⅱ期も同 4.2%上昇、Ⅲ期は同 8.7%低下、Ⅳ期は同 6.3%上昇しました。

◎ 年間の動き

以上のように、生産指数（季節調整済指数）は、Ⅱ期、Ⅲ期は低下、Ⅰ期、Ⅳ期は上昇しました。出荷指数（同）は、Ⅰ期、Ⅱ期、Ⅲ期は低下、Ⅳ期は上昇しました。在庫指数（同）の前期末比では、Ⅰ期、Ⅱ期、Ⅳ期は上昇、Ⅲ期は低下しました。

また、生産指数（原指数）の前年同期比では、Ⅱ期、Ⅲ期は低下、Ⅰ期、Ⅳ期は上昇しました。出荷指数（同）の前年同期比では、Ⅰ期、Ⅱ期、Ⅲ期は低下、Ⅳ期は上昇しました。在庫指数（同）の前年同期末比は、Ⅰ期、Ⅱ期、Ⅲ期は低下、Ⅳ期は上昇しました。

県内の工業生産は 4 年ぶりに低下し、2024 年は輸送機械工業や石油・石炭製品工業などが低下に寄与しました。

全国の工業生産の前年同期比では、各期とも低下しました。

（P 2 図 1・表 1、P 5 表 3、P 6 表 4 参照）

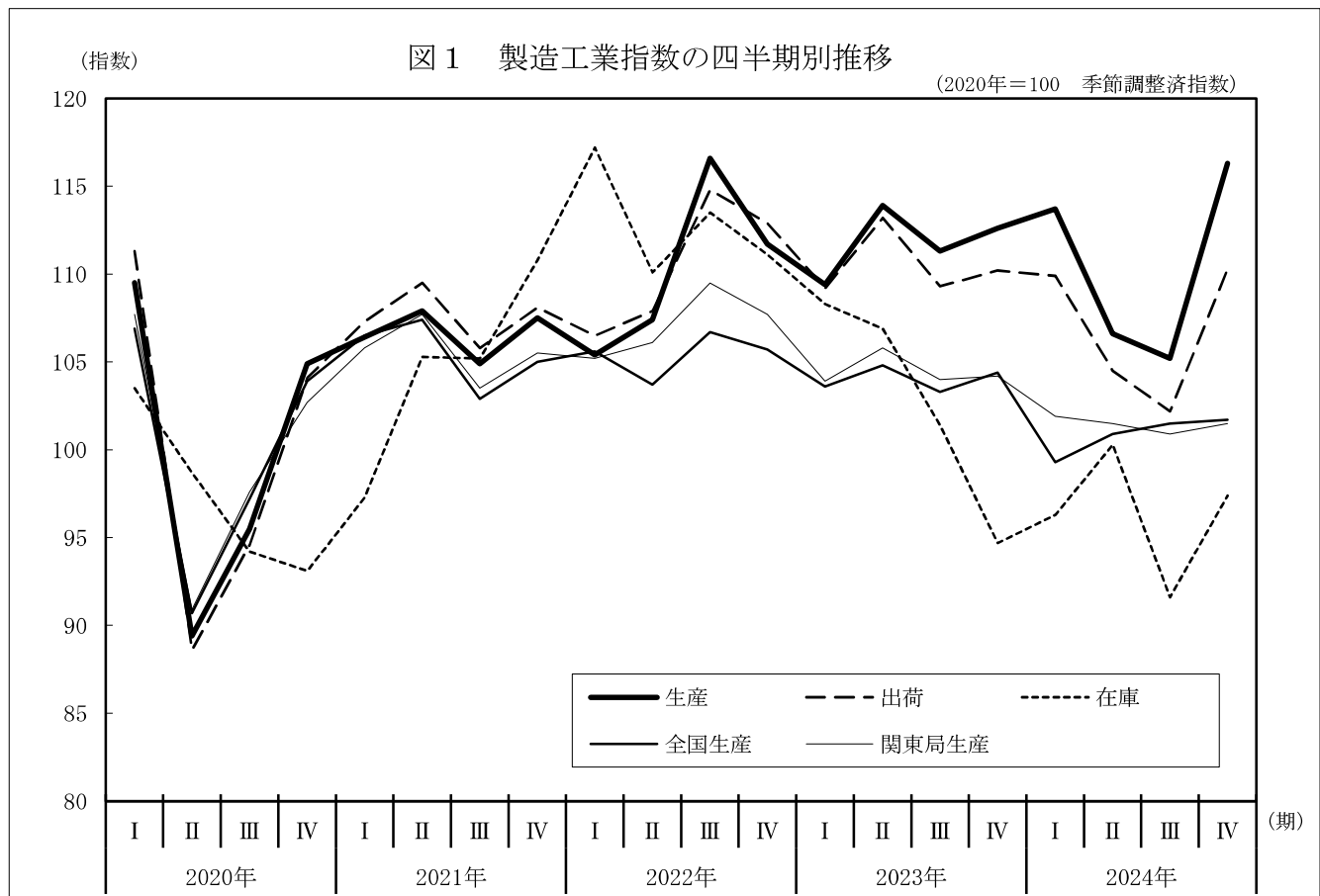


表1 製造工業指数の年別・四半期別推移

(2020年=100)

		2020年	2021年	2022年	2023年	2024年	2024年			
							I	II	III	IV
神奈川県 生産	指数	100.0	106.8	110.0	111.7	110.6	113.7	106.6	105.2	116.3
	対前年(期)増減率%	△ 13.8	6.8	3.0	1.5	△ 1.0	1.0	△ 6.2	△ 1.3	10.6
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	3.1	△ 7.2	△ 5.6	5.7
出荷	指数	100.0	107.8	110.3	110.4	106.7	109.9	104.5	102.2	110.3
	対前年(期)増減率%	△ 15.7	7.8	2.3	0.1	△ 3.4	△ 0.3	△ 4.9	△ 2.2	7.9
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	△ 0.7	△ 8.2	△ 6.7	2.0
在庫	指数	90.9	108.1	108.4	91.8	94.0	96.3	100.3	91.6	97.4
	対前年(期)末増減率%	△ 15.0	18.9	0.3	△ 15.3	2.4	1.7	4.2	△ 8.7	6.3
	対前年同期末増減率%	-	-	-	-	-	△ 11.0	△ 5.7	△ 10.0	2.4
全国 生産	指数	100.0	105.4	105.3	104.0	101.2	99.3	100.9	101.5	101.7
	対前年(期)増減率%	△ 10.4	5.4	△ 0.1	△ 1.2	△ 2.7	△ 4.9	1.6	0.6	0.2
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	△ 3.9	△ 3.3	△ 1.8	△ 1.6
関東経済産業局管内 生産	指数	100.0	105.7	107.0	104.5	101.7	101.9	101.5	100.9	101.5
	対前年(期)増減率%	△ 10.9	5.7	1.2	△ 2.3	△ 2.7	△ 2.2	△ 0.4	△ 0.6	0.6
	対前年同期増減率%	-	-	-	-	-	△ 2.7	△ 4.4	△ 2.6	△ 1.3

* 年指数は原指数、四半期指数は季節調整済指数。ただし、対前年同期（末）増減率は原指数で計算

* 関東経済産業局管内：茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、新潟県、山梨県、長野県、静岡県の地域

(4) 業種別の動向

<生産>

業種別にみると、エンジン（自動車用）や普通トラックなどが減少した輸送機械工業（前年比10.1%低下）や、ガソリンなどが減少した石油・石炭製品工業（同20.7%低下）など11業種が低下しました。

また、レーザダイオードなどが増加した電子部品・デバイス工業（前年比68.3%上昇）など、9業種が上昇しました。

<出荷>

業種別にみると、エンジン（自動車用）や普通トラックなどが減少した輸送機械工業（前年比10.9%低下）や、ガソリンなどが減少した石油・石炭製品工業（同11.4%低下）など14業種が低下しました。

また、無線応用装置などが増加した情報通信機械工業（前年比24.1%上昇）など、6業種が上昇しました。

<在庫>

業種別にみると、普通トラックやけん引車などが増加した輸送機械工業（前年末比46.7%上昇）や汎用内燃機関などが増加した汎用機械工業（同13.0%上昇）など9業種が上昇しました。

また、レーザダイオードなどが減少した電子部品・デバイス工業（前年末比31.3%低下）など8業種が低下しました。

（P 3 図 2、P 4 表 2、P 5 表 3 参照）

図2 生産指数増減率に対する業種別寄与度の推移

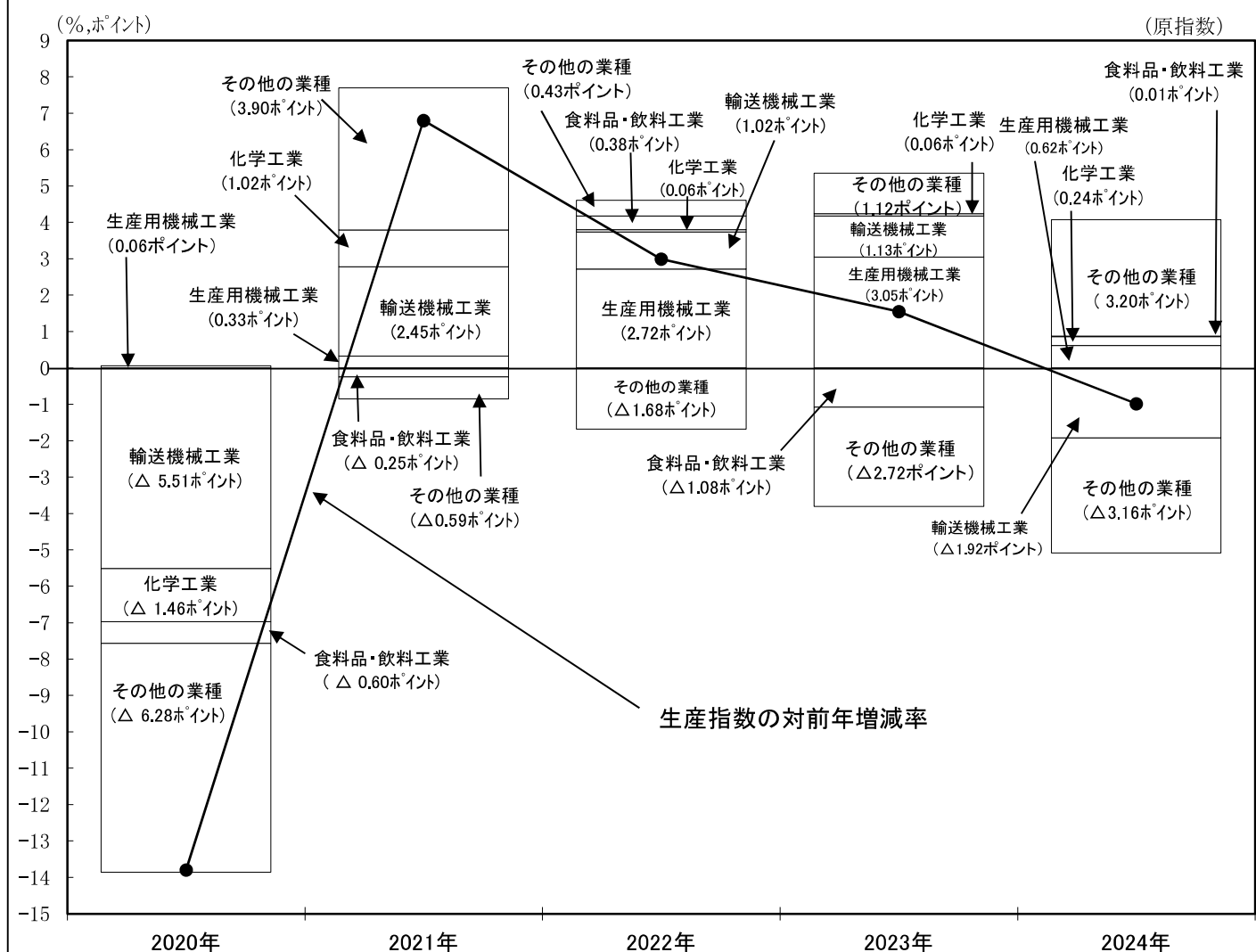


表2 工業生産指数の上昇・低下に寄与した主な業種と品目

(1) 生産 年指数 110.6 対前年増減率 △1.0% 上昇9業種、低下11業種

業 種		対 前 年 増減率(%)	寄 与 度 (ポ イ ント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上	電 子 部 品 ・ デ バ イ ス 工 業	68.3	1.79	増	レーザダイオード、電子回路実装基板、モス型半導体集積回路（ＣＣＤ）など
				減	電子回路基板、抵抗器、トランジスタなど
	情 報 通 信 機 械 工	22.6	1.21	増	無線応用装置、外部記憶装置、固定通信装置など
昇				減	その他の陸上移動通信装置、放送装置
	生 産 用 機 械 工	4.5	0.62	増	フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置、金型など
				減	機械プレス、プラスチック加工機械、マシニングセンタなど
昇	化 学 工 業	1.5	0.24	増	医薬品、身体用洗剤、合成ゴムなど
				減	パラキシレン、フルオロカーボン、触媒など
	食 料 品 ・ 飲 料 工	0.1	0.01	増	清涼飲料（炭酸飲料除く）、炭酸飲料、あめ菓子など
低				減	菓子パン、ビール・発泡酒、焼酎など
	輸 送 機 械 工 業	△ 10.1	△ 1.92	増	鉄道車両、大型バス、トラックボデー
				減	エンジン（自動車用）、普通トラック、普通乗用車など
下	石 油 ・ 石 炭 製 品 工	△ 20.7	△ 0.99	増	ナフサ
				減	ガソリン、軽油、精製及び混合原料油など

(2) 出荷 年指数 106.7 対前年増減率 △3.4% 上昇6業種、低下14業種

業 種		対 前 年 増減率(%)	寄 与 度 (ポ イ ント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上	情 報 通 信 機 械 工	24.1	1.11	増	無線応用装置、外部記憶装置、固定通信装置など
				減	その他の陸上移動通信装置、放送装置、ガス警報器
	電 子 部 品 ・ デ バ イ ス 工 業	56.5	1.09	増	レーザダイオード、モス型半導体集積回路（ＣＣＤ）、電子回路実装基板など
昇				減	トランジスタ、電子回路基板、抵抗器など
	生 産 用 機 械 工	5.5	0.61	増	フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置、金型など
				減	機械プレス、プラスチック加工機械、個装・内装機械など
昇	食 料 品 ・ 飲 料 工	0.6	0.07	増	清涼飲料（炭酸飲料除く）、植物油搾かす、小麦粉など
				減	菓子パン、ビール・発泡酒、焼酎など
	輸 送 機 械 工 業	△ 10.9	△ 2.70	増	大型バス、鉄道車両、トラックボデー
低				減	エンジン（自動車用）、普通トラック、普通乗用車など
	石 油 ・ 石 炭 製 品 工	△ 11.4	△ 1.34	増	—
				減	ガソリン、精製及び混合原料油、灯油など
下	化 学 工 業	△ 1.7	△ 0.21	増	医薬品、写真フィルム、メチルエチルケトンなど
				減	純ベンゼン、キシレン、パラキシレンなど

(3) 在庫 年指数 94.0 対前年末増減率 2.4% 上昇9業種、低下8業種

業 種		対 前 年 末 増減率(%)	寄 与 度 (ポ イ ント)	上昇または低下に寄与した主な品目	
上	輸 送 機 械 工 業	46.7	4.54	増	普通トラック、けん引車、大型バスなど
				減	普通乗用車、小型乗用車
	汎 用 機 械 工 業	13.0	0.67	増	汎用内燃機関、真空ポンプ
昇				減	圧縮機、ポンプ
	電 子 部 品 ・ デ バ イ ス 工 業	△ 31.3	△ 1.29	増	—
				減	レーザダイオード、トランジスタ、整流素子など
低	窯 業 ・ 土 石 製 品 工	△ 15.9	△ 0.91	増	触媒担体・セラミックフィルタ、不定形耐火物
				減	ガラス基礎製品、ガラス製容器類、安全ガラスなど
	食 料 品 ・ 飲 料 工	△ 7.0	△ 0.45	増	あめ菓子、果実酒、植物油搾かすなど
下				減	ビール・発泡酒、チョコレート、ビスケット類など
	生 産 用 機 械 工	△ 18.5	△ 0.38	増	個装・内装機械、食料品加工機械
				減	マシニングセンタ、ダイヤモンド工具
下	化 学 工 業	△ 0.9	△ 0.28	増	合成洗剤、石油樹脂、触媒など
				減	合成ゴム、漂白剤、フルオロカーボンなど

表 3

業種別年指数・対前年増減率

(2020年＝100 原指数)

業 種		生 産				出 荷				在 庫				在 庫 率			
		2021年	2022年	2023年	2024年	2021年	2022年	2023年	2024年	2021年	2022年	2023年	2024年	2021年	2022年	2023年	2024年
製 造 工 業	指 数	106.8	110.0	111.7	110.6	107.8	110.3	110.4	106.7	108.1	108.4	91.8	94.0	92.4	99.6	107.0	109.0
	対前年増減率%	6.8	3.0	1.5	△ 1.0	7.8	2.3	0.1	△ 3.4	18.9	0.3	△ 15.3	2.4	△ 7.6	7.8	7.4	1.9
鉄 鋼 業	指 数	108.1	103.4	81.6	50.9	106.7	105.9	89.5	66.5	119.1	116.8	78.5	79.8	89.6	106.3	124.3	181.0
	対前年増減率%	8.1	△ 4.3	△ 21.1	△ 37.6	6.7	△ 0.7	△ 15.5	△ 25.7	24.3	△ 1.9	△ 32.8	1.7	△ 10.4	18.6	16.9	45.6
非鉄金属 工 業	指 数	109.7	100.3	77.5	80.2	108.0	99.8	78.2	80.2	103.7	109.8	81.2	83.5	88.7	107.1	126.7	105.5
	対前年増減率%	9.7	△ 8.6	△ 22.7	3.5	8.0	△ 7.6	△ 21.6	2.6	13.6	5.9	△ 26.0	2.8	△ 11.3	20.7	18.3	△ 16.7
金属製品 工 業	指 数	105.4	107.0	101.4	98.3	106.5	105.3	100.1	96.5	91.2	101.9	89.8	93.8	94.0	96.9	106.1	105.7
	対前年増減率%	5.4	1.5	△ 5.2	△ 3.1	6.5	△ 1.1	△ 4.9	△ 3.6	△ 3.7	11.7	△ 11.9	4.5	△ 6.0	3.1	9.5	△ 0.4
汎用機械 工 業	指 数	110.2	109.6	104.9	97.9	106.4	107.6	102.5	96.2	104.4	95.9	83.1	93.9	94.4	89.9	92.4	89.2
	対前年増減率%	10.2	△ 0.5	△ 4.3	△ 6.7	6.4	1.1	△ 4.7	△ 6.1	△ 2.2	△ 8.1	△ 13.3	13.0	△ 5.6	△ 4.8	2.8	△ 3.5
生産用機械 工 業	指 数	103.7	136.4	174.2	182.0	103.5	137.2	162.3	171.3	117.5	119.8	191.6	156.1	76.3	87.9	100.0	109.4
	対前年増減率%	3.7	31.5	27.7	4.5	3.5	32.6	18.3	5.5	33.1	2.0	59.9	△ 18.5	△ 23.7	15.2	13.8	9.4
業務用機械 工 業	指 数	117.4	109.1	93.2	98.8	111.8	103.7	90.6	88.4	92.4	110.4	94.1	98.0	111.5	105.6	121.8	119.2
	対前年増減率%	17.4	△ 7.1	△ 14.6	6.0	11.8	△ 7.2	△ 12.6	△ 2.4	1.7	19.5	△ 14.8	4.1	11.5	△ 5.3	15.3	△ 2.1
電子部品・ デバイス工業	指 数	114.2	115.0	93.3	157.0	109.3	114.1	95.6	149.6	151.6	166.0	125.2	86.0	108.4	130.1	232.4	69.3
	対前年増減率%	14.2	0.7	△ 18.9	68.3	9.3	4.4	△ 16.2	56.5	151.4	9.5	△ 24.6	△ 31.3	8.4	20.0	78.6	△ 70.2
電気機械 工 業	指 数	97.7	100.3	104.6	102.5	97.6	99.3	105.5	104.2	61.2	89.3	78.1	80.2	62.8	68.2	59.4	53.3
	対前年増減率%	△ 2.3	2.7	4.3	△ 2.0	△ 2.4	1.7	6.2	△ 1.2	△ 9.7	45.9	△ 12.5	2.7	△ 37.2	8.6	△ 12.9	△ 10.3
情報通信 機械工業	指 数	94.0	80.9	90.7	111.2	94.2	80.0	89.3	110.8	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前年増減率%	△ 6.0	△ 13.9	12.1	22.6	△ 5.8	△ 15.1	11.6	24.1	-	-	-	-	-	-	-	-
輸送機械 工 業	指 数	114.8	121.4	128.9	115.9	115.0	124.5	131.1	116.8	238.4	175.7	107.0	157.0	130.8	157.5	116.2	130.0
	対前年増減率%	14.8	5.7	6.2	△ 10.1	15.0	8.3	5.3	△ 10.9	112.7	△ 26.3	△ 39.1	46.7	30.8	20.4	△ 26.2	11.9
窯業・土石 製品工業	指 数	105.1	109.9	115.8	106.8	102.5	108.5	112.1	104.3	115.9	116.0	123.8	104.1	115.8	96.4	96.6	103.3
	対前年増減率%	5.1	4.6	5.4	△ 7.8	2.5	5.9	3.3	△ 7.0	22.5	0.1	6.7	△ 15.9	15.8	△ 16.8	0.2	6.9
化学工業	指 数	106.1	106.5	106.9	108.5	107.4	103.8	103.3	101.5	93.4	103.2	88.8	88.0	89.0	96.4	107.1	106.4
	対前年増減率%	6.1	0.4	0.4	1.5	7.4	△ 3.4	△ 0.5	△ 1.7	7.1	10.5	△ 14.0	△ 0.9	△ 11.0	8.3	11.1	△ 0.7
石油・石炭 製品工業	指 数	132.1	123.4	108.3	85.9	118.9	110.9	102.5	90.8	88.2	82.9	89.0	82.4	81.5	82.8	105.8	133.4
	対前年増減率%	32.1	△ 6.6	△ 12.2	△ 20.7	18.9	△ 6.7	△ 7.6	△ 11.4	△ 11.7	△ 6.0	7.4	△ 7.4	△ 18.5	1.6	27.8	26.1
プラスチック 製品工業	指 数	112.2	114.2	113.2	82.9	112.4	115.1	114.2	83.5	96.9	83.3	89.2	96.9	88.7	82.8	77.9	110.6
	対前年増減率%	12.2	1.8	△ 0.9	△ 26.8	12.4	2.4	△ 0.8	△ 26.9	2.1	△ 14.0	7.1	8.6	△ 11.3	△ 6.7	△ 5.9	42.0
紙・紙加工品 工 業	指 数	97.8	98.6	95.7	95.9	97.8	100.2	93.4	92.1	101.2	97.3	73.8	93.0	107.2	99.8	102.4	93.3
	対前年増減率%	△ 2.2	0.8	△ 2.9	0.2	△ 2.2	2.5	△ 6.8	△ 1.4	3.8	△ 3.9	△ 24.2	26.0	7.2	△ 6.9	2.6	△ 8.9
繊維工業	指 数	110.3	83.3	78.1	58.4	104.5	83.7	78.2	59.9	115.8	110.9	113.4	96.0	95.1	125.1	134.4	133.9
	対前年増減率%	10.3	△ 24.5	△ 6.2	△ 25.2	4.5	△ 19.9	△ 6.6	△ 23.4	20.6	△ 4.2	2.3	△ 15.3	△ 4.9	31.5	7.4	△ 0.4
食料品・ 飲料工業	指 数	98.2	101.1	92.6	92.7	99.2	101.4	93.4	94.0	90.4	93.5	92.0	85.6	93.5	97.7	106.8	106.2
	対前年増減率%	△ 1.8	3.0	△ 8.4	0.1	△ 0.8	2.2	△ 7.9	0.6	△ 2.0	3.4	△ 1.6	△ 7.0	△ 6.5	4.5	9.3	△ 0.6
ゴム製品 工 業	指 数	106.2	99.8	104.1	98.5	105.4	104.1	101.9	95.6	93.2	90.3	97.4	89.0	96.4	107.3	102.2	110.4
	対前年増減率%	6.2	△ 6.0	4.3	△ 5.4	5.4	△ 1.2	△ 2.1	△ 6.2	3.8	△ 3.1	7.9	△ 8.6	△ 3.6	11.3	△ 4.8	8.0
家具工業	指 数	95.1	92.2	113.9	131.3	92.5	89.6	111.2	128.6	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前年増減率%	△ 4.9	△ 3.0	23.5	15.3	△ 7.5	△ 3.1	24.1	15.6	-	-	-	-	-	-	-	-
印刷業	指 数	104.0	97.4	97.5	88.8	104.0	97.4	97.6	88.9	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前年増減率%	4.0	△ 6.3	0.1	△ 8.9	4.0	△ 6.3	0.2	△ 8.9	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考) 機 械 工 業	指 数	107.2	114.0	123.4	126.5	107.6	115.8	122.9	122.3	134.1	125.7	97.1	109.2	96.2	107.3	104.9	89.2
	対前年増減率%	7.2	6.3	8.2	2.5	7.6	7.6	6.1	△ 0.5	50.0	△ 6.3	△ 22.8	12.5	△ 3.8	11.5	△ 2.2	△ 15.0

*生産・出荷・在庫率は年平均（年平均比）、在庫は年末（年末比）

*機械工業は参考系列（P78 業種分類参照）

表 4

2024年業種別四半期指数・対前期増減率

(2020年＝100 季節調整済指数)

業 種		生 産				出 荷				在 庫				在 庫 率			
		I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV	I	II	III	IV
製 造 工 業	指 数	113.7	106.6	105.2	116.3	109.9	104.5	102.2	110.3	96.3	100.3	91.6	97.4	109.3	116.2	103.7	106.9
	対前期増減率%	1.0	△ 6.2	△ 1.3	10.6	△ 0.3	△ 4.9	△ 2.2	7.9	1.7	4.2	△ 8.7	6.3	2.9	6.3	△ 10.8	3.1
鉄 鋼 業	指 数	52.5	49.2	46.9	53.9	68.5	66.3	61.8	68.9	80.6	79.0	79.2	79.0	218.4	159.1	183.5	153.6
	対前期増減率%	△ 5.9	△ 6.3	△ 4.7	14.9	△ 7.1	△ 3.2	△ 6.8	11.5	4.9	△ 2.0	0.3	△ 0.3	39.8	△ 27.2	15.3	△ 16.3
非鉄金属 工 業	指 数	75.1	78.0	83.8	83.0	73.9	80.1	82.9	83.6	97.3	83.9	86.2	85.3	115.8	106.3	99.3	100.6
	対前期増減率%	7.3	3.9	7.4	△ 1.0	2.1	8.4	3.5	0.8	18.1	△ 13.8	2.7	△ 1.0	△ 3.3	△ 8.2	△ 6.6	1.3
金属製品 工 業	指 数	94.6	96.7	99.7	101.1	95.4	96.9	95.1	98.2	97.3	93.3	99.4	99.2	106.5	102.8	109.1	105.4
	対前期増減率%	△ 7.7	2.2	3.1	1.4	△ 4.4	1.6	△ 1.9	3.3	2.5	△ 4.1	6.5	△ 0.2	12.0	△ 3.5	6.1	△ 3.4
汎用機械 工 業	指 数	96.8	98.6	99.9	96.5	96.2	100.2	97.1	91.5	99.0	87.5	91.2	95.9	96.0	84.5	87.1	92.0
	対前期増減率%	△ 4.7	1.9	1.3	△ 3.4	△ 3.1	4.2	△ 3.1	△ 5.8	16.3	△ 11.6	4.2	5.2	12.8	△ 12.0	3.1	5.6
生産用機械 工 業	指 数	221.0	139.9	126.3	231.1	211.5	136.5	117.7	208.9	174.1	135.3	142.9	148.3	106.4	104.7	105.6	114.9
	対前期増減率%	41.7	△ 36.7	△ 9.7	83.0	51.3	△ 35.5	△ 13.8	77.5	△ 8.8	△ 22.3	5.6	3.8	△ 10.7	△ 1.6	0.9	8.8
業務用機械 工 業	指 数	89.0	103.0	103.0	100.3	85.8	88.3	91.3	87.3	94.4	102.3	98.3	101.2	109.8	119.1	120.4	128.2
	対前期増減率%	6.8	15.7	0.0	△ 2.6	5.5	2.9	3.4	△ 4.4	△ 4.4	8.4	△ 3.9	3.0	△ 45.9	8.5	1.1	6.5
電子部品・ デバイス工業	指 数	132.9	147.3	162.7	185.6	135.1	136.2	153.7	170.0	88.6	115.4	84.8	89.3	72.0	77.7	68.2	62.6
	対前期増減率%	32.8	10.8	10.5	14.1	45.4	0.8	12.8	10.6	△ 29.2	30.2	△ 26.5	5.3	△ 45.8	7.9	△ 12.2	△ 8.2
電気機械 工 業	指 数	100.1	99.1	108.5	104.4	101.7	101.8	113.1	102.5	73.2	90.6	62.8	79.4	61.3	56.1	42.6	55.8
	対前期増減率%	△ 11.0	△ 1.0	9.5	△ 3.8	△ 9.6	0.1	11.1	△ 9.4	△ 10.4	23.8	△ 30.7	26.4	12.3	△ 8.5	△ 24.1	31.0
情報通信 機械工業	指 数	103.7	110.3	107.9	118.8	103.0	109.5	107.3	119.6	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前期増減率%	1.2	6.4	△ 2.2	10.1	△ 0.2	6.3	△ 2.0	11.5	-	-	-	-	-	-	-	-
輸送機械 工 業	指 数	117.0	121.4	114.5	113.1	116.3	123.7	115.4	113.7	155.4	172.0	161.8	176.6	133.7	119.5	134.1	133.8
	対前期増減率%	△ 14.3	3.8	△ 5.7	△ 1.2	△ 16.4	6.4	△ 6.7	△ 1.5	35.5	10.7	△ 5.9	9.1	43.5	△ 10.6	12.2	△ 0.2
窯業・土石 製品工業	指 数	109.4	107.1	104.4	103.8	106.6	104.9	102.3	102.4	126.0	120.5	112.5	107.8	108.7	106.9	103.1	94.2
	対前期増減率%	△ 5.0	△ 2.1	△ 2.5	△ 0.6	△ 4.7	△ 1.6	△ 2.5	0.1	△ 1.5	△ 4.4	△ 6.6	△ 4.2	2.4	△ 1.7	△ 3.6	△ 8.6
化学工業	指 数	107.3	107.1	106.9	112.0	101.3	102.1	100.1	102.6	90.2	86.6	84.2	90.0	103.6	125.1	95.5	101.2
	対前期増減率%	△ 2.6	△ 0.2	△ 0.2	4.8	△ 2.4	0.8	△ 2.0	2.5	△ 1.3	△ 4.0	△ 2.8	6.9	△ 5.2	20.8	△ 23.7	6.0
石油・石炭 製品工業	指 数	86.5	74.5	84.1	94.7	93.5	81.2	91.2	95.3	80.1	100.4	84.7	84.6	109.5	168.9	112.6	138.5
	対前期増減率%	△ 13.6	△ 13.9	12.9	12.6	△ 6.6	△ 13.2	12.3	4.5	△ 12.7	25.3	△ 15.6	△ 0.1	△ 1.6	54.2	△ 33.3	23.0
プラスチック 製品工業	指 数	85.4	86.8	81.0	77.8	86.5	86.9	81.0	79.4	91.6	90.4	93.0	98.0	107.5	105.9	113.2	117.4
	対前期増減率%	△ 26.5	1.6	△ 6.7	△ 4.0	△ 26.2	0.5	△ 6.8	△ 2.0	1.2	△ 1.3	2.9	5.4	37.8	△ 1.5	6.9	3.7
紙・紙加工品 工 業	指 数	94.4	96.3	95.7	95.9	90.4	93.1	92.2	91.8	90.0	94.5	93.2	104.4	87.3	93.3	91.9	102.7
	対前期増減率%	△ 3.0	2.0	△ 0.6	0.2	△ 5.5	3.0	△ 1.0	△ 0.4	7.7	5.0	△ 1.4	12.0	△ 1.1	6.9	△ 1.5	11.8
繊維工業	指 数	61.7	64.4	51.4	54.7	62.3	64.2	53.5	61.0	117.7	114.4	110.4	102.1	129.9	134.0	141.4	130.0
	対前期増減率%	△ 19.2	4.4	△ 20.2	6.4	△ 19.9	3.0	△ 16.7	14.0	△ 1.8	△ 2.8	△ 3.5	△ 7.5	△ 4.1	3.2	5.5	△ 8.1
食料品・ 飲料工業	指 数	92.6	93.2	92.2	92.0	94.1	94.3	93.7	93.3	92.2	103.9	94.3	90.7	106.0	109.5	104.6	105.1
	対前期増減率%	0.7	0.6	△ 1.1	△ 0.2	1.5	0.2	△ 0.6	△ 0.4	△ 5.1	12.7	△ 9.2	△ 3.8	△ 1.9	3.3	△ 4.5	0.5
ゴム製品 工 業	指 数	101.0	98.3	97.1	97.2	95.1	97.8	93.5	95.8	113.9	108.1	101.9	97.7	119.9	110.7	108.1	102.1
	対前期増減率%	△ 7.5	△ 2.7	△ 1.2	0.1	△ 9.8	2.8	△ 4.4	2.5	8.0	△ 5.1	△ 5.7	△ 4.1	14.8	△ 7.7	△ 2.3	△ 5.6
家具工業	指 数	123.1	122.2	133.1	144.2	120.6	118.9	132.5	141.4	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前期増減率%	△ 4.6	△ 0.7	8.9	8.3	△ 4.1	△ 1.4	11.4	6.7	-	-	-	-	-	-	-	-
印刷業	指 数	93.6	89.5	88.9	82.9	93.7	89.7	89.4	83.3	-	-	-	-	-	-	-	-
	対前期増減率%	△ 2.6	△ 4.4	△ 0.7	△ 6.7	△ 3.1	△ 4.3	△ 0.3	△ 6.8	-	-	-	-	-	-	-	-
(参考) 機 械 工 業	指 数	131.9	120.2	115.6	137.1	127.2	120.5	113.1	128.4	108.6	118.5	100.7	116.2	90.4	89.9	86.6	90.6
	対前期増減率%	4.4	△ 8.9	△ 3.8	18.6	2.0	△ 5.3	△ 6.1	13.5	7.1	9.1	△ 15.0	15.4	△ 0.4	△ 0.6	△ 3.7	4.6

*生産・出荷・在庫率は3か月平均（3か月平均比）、在庫は期末（期末比）

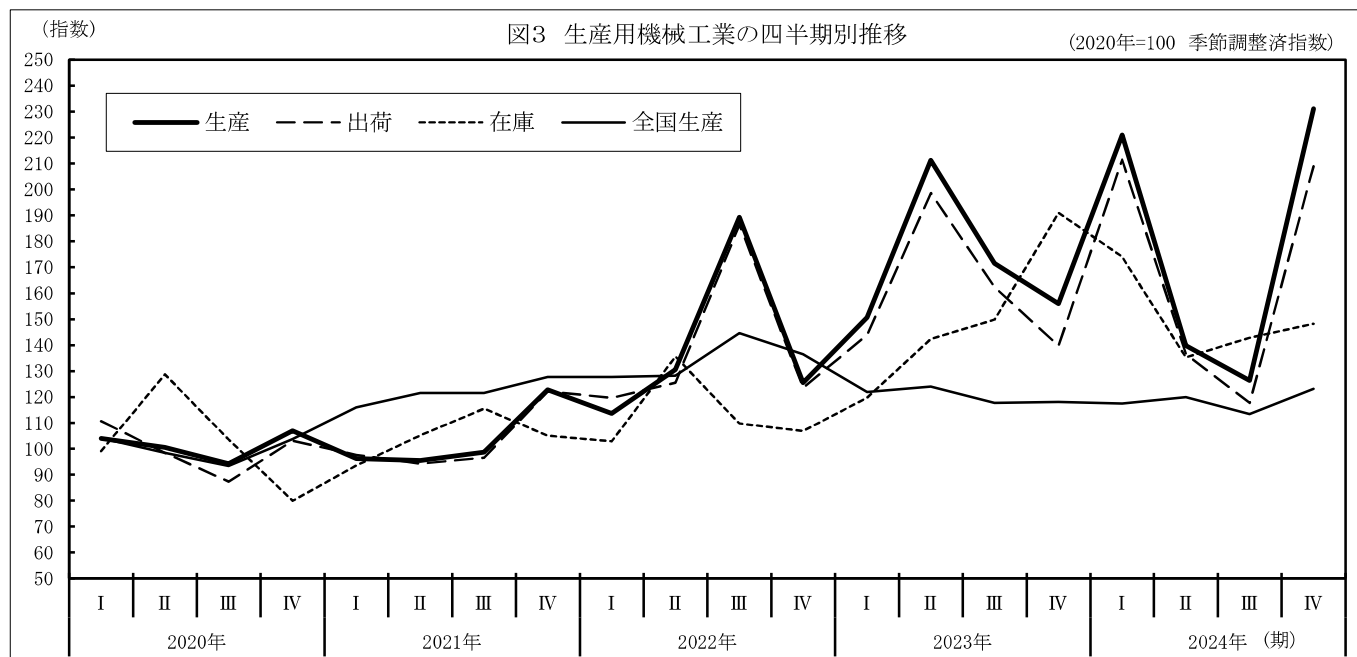
*機械工業は参考系列（P78 業種分類参照）

2 各業種の動向

(1) 主要業種の動向

<生産用機械工業>

ー生産、出荷とも6年連続の上昇ー



<生産>

生産指数(原指数)は、182.0で前年比4.5%上昇し、6年連続して上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、Ⅰ期は前期比41.7%上昇、Ⅱ期は同36.7%低下、Ⅲ期も同9.7%低下、Ⅳ期は同83.0%上昇しました。

品目別にみると、フラットパネル・ディスプレイ製造装置や半導体製造装置などが増加し、機械プレスなどが減少しました。

また、全国生産用機械工業の生産指数(原指数)は、118.9で前年比1.5%低下し、2年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、171.3で前年比5.5%上昇し、6年連続して上昇しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、Ⅰ期は前期比51.3%上昇、Ⅱ期は同35.5%低下、Ⅲ期も同13.8%低下、Ⅳ期は同77.5%上昇しました。

品目別にみると、フラットパネル・ディスプレイ製造装置や半導体製造装置などが増加し、機械プレスなどが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、156.1で前年末比18.5%低下し、4年ぶりに低下しました。

四半期別(季節調整済指数)にみると、Ⅰ期は前期末比8.8%低下、Ⅱ期も同22.3%低下、Ⅲ期は同5.6%上昇、Ⅳ期も同3.8%上昇しました。

品目別にみると、マシニングセンタやダイヤモンド工具が減少し、個装・内装機械などが増加しました。

表5 生産用機械工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

		2023年	2024年	上昇又は低下に寄与した主な品目			
				Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
生産	指数	174.2	182.0	221.0	139.9	126.3	231.1
	対前年(期)増減率%	27.7	4.5	41.7	△ 36.7	△ 9.7	83.0
出荷	指数	162.3	171.3	211.5	136.5	117.7	208.9
	対前年(期)増減率%	18.3	5.5	51.3	△ 35.5	△ 13.8	77.5
在庫	指数	191.6	156.1	174.1	135.3	142.9	148.3
	対前年(期)末増減率%	59.9	△ 18.5	△ 8.8	△ 22.3	5.6	3.8

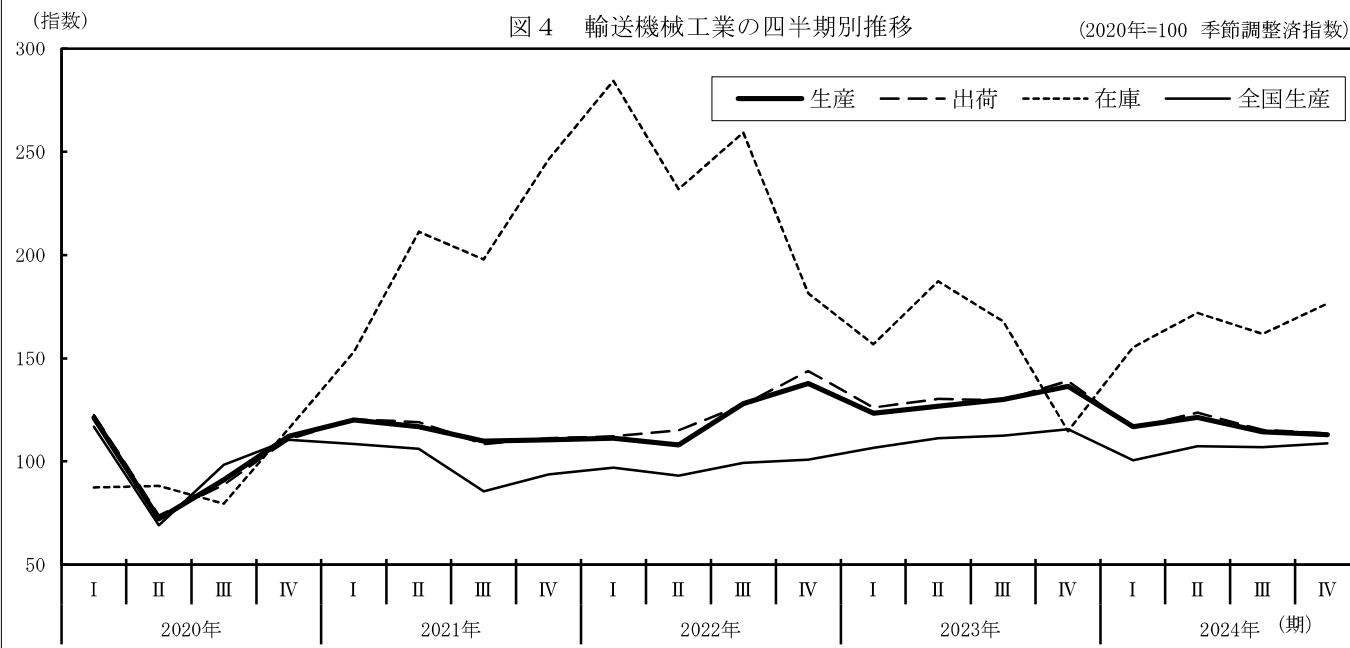
生産	増	フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置、金型など
	減	機械プレス、プラスチック加工機械、マシニングセンタなど
出荷	増	フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置、金型など
	減	機械プレス、プラスチック加工機械、個装・内装機械など
在庫	増	個装・内装機械、食料品加工機械
	減	マシニングセンタ、ダイヤモンド工具

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

<輸送機械工業>

ー生産、出荷とも4年ぶりの低下ー



<生産>

生産指数(原指数)は、115.9で前年比10.1%低下し、4年ぶりに低下しました。
四半期別(季節調整済指数)にみると、Ⅰ期は前期比14.3%低下、Ⅱ期は同3.8%上昇、Ⅲ期は同5.7%低下、Ⅳ期も同1.2%低下しました。
品目別にみると、エンジン(自動車用)や普通トラックなどが減少し、鉄道車両などが増加しました。
また、全国の輸送機械工業の生産指数(原指数)は、106.3で前年比4.7%低下し、2年ぶりに低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、116.8で前年比10.9%低下し、4年ぶりに低下しました。
四半期別(季節調整済指数)にみると、Ⅰ期は前期比16.4%低下、Ⅱ期は同6.4%上昇、Ⅲ期は同6.7%低下、Ⅳ期も同1.5%低下しました。
品目別にみると、エンジン(自動車用)や普通トラックなどが減少し、大型バスなどが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、157.0で前年末比46.7%上昇し、3年ぶりに上昇しました。
四半期別(季節調整済指数)にみると、Ⅰ期は前期末比35.5%上昇、Ⅱ期も同10.7%上昇、Ⅲ期は同5.9%低下、Ⅳ期は同9.1%上昇しました。
品目別にみると、普通トラックやけん引車などが増加し、普通乗用車などが減少しました。

表6 輸送機械工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

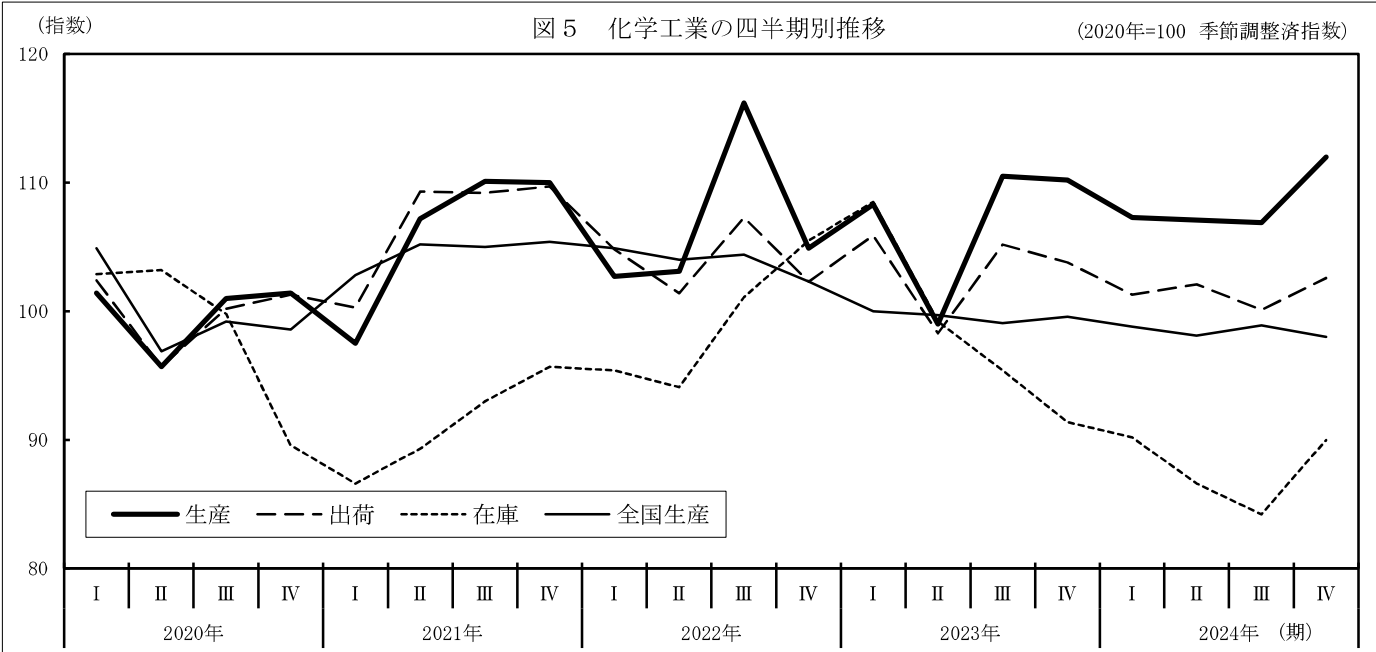
		2023年		2024年				上昇又は低下に寄与した主な品目		
		指数		Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ			
生産	指数	128.9	115.9	117.0	121.4	114.5	113.1	増	鉄道車両、大型バス、トラックボデー	
	対前年(期)増減率%	6.2	△ 10.1	△ 14.3	3.8	△ 5.7	△ 1.2	減	エンジン(自動車用)、普通トラック、普通乗用車など	
出荷	指数	131.1	116.8	116.3	123.7	115.4	113.7	増	大型バス、鉄道車両、トラックボデー	
	対前年(期)増減率%	5.3	△ 10.9	△ 16.4	6.4	△ 6.7	△ 1.5	減	エンジン(自動車用)、普通トラック、普通乗用車など	
在庫	指数	107.0	157.0	155.4	172.0	161.8	176.6	増	普通トラック、けん引車、大型バスなど	
	対前年(期)末増減率%	△ 39.1	46.7	35.5	10.7	△ 5.9	9.1	減	普通乗用車、小型乗用車	

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

<化学工業>

ー生産は4年連続の上昇、出荷は3年連続の低下ー



<生産>

生産指数(原指数)は、108.5で前年比1.5%上昇し、4年連続して上昇しました。
四半期別(季節調整済指数)にみると、Ⅰ期は前期比2.6%低下、Ⅱ期も同0.2%低下、Ⅲ期も同0.2%低下、Ⅳ期は同4.8%上昇しました。
品目別にみると、医薬品や身体用洗浄剤などが増加し、パラキシレンなどが減少しました。
また、全国の化学工業の生産指数(原指数)は、98.9で前年比0.8%低下し、3年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、101.5で前年比1.7%低下し、3年連続して低下しました。
四半期別(季節調整済指数)にみると、Ⅰ期は前期比2.4%低下、Ⅱ期は同0.8%上昇、Ⅲ期は同2.0%低下、Ⅳ期は同2.5%上昇しました。
品目別にみると、純ベンゼンやキシレンなどが減少し、医薬品などが増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、88.0で前年末比0.9%低下し、2年連続して低下しました。
四半期別(季節調整済指数)にみると、Ⅰ期は前期末比1.3%低下、Ⅱ期も同4.0%低下、Ⅲ期も同2.8%低下、Ⅳ期は同6.9%上昇しました。
品目別にみると、合成ゴムや漂白剤などが減少し、合成洗剤などが増加しました。

表7 化学工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

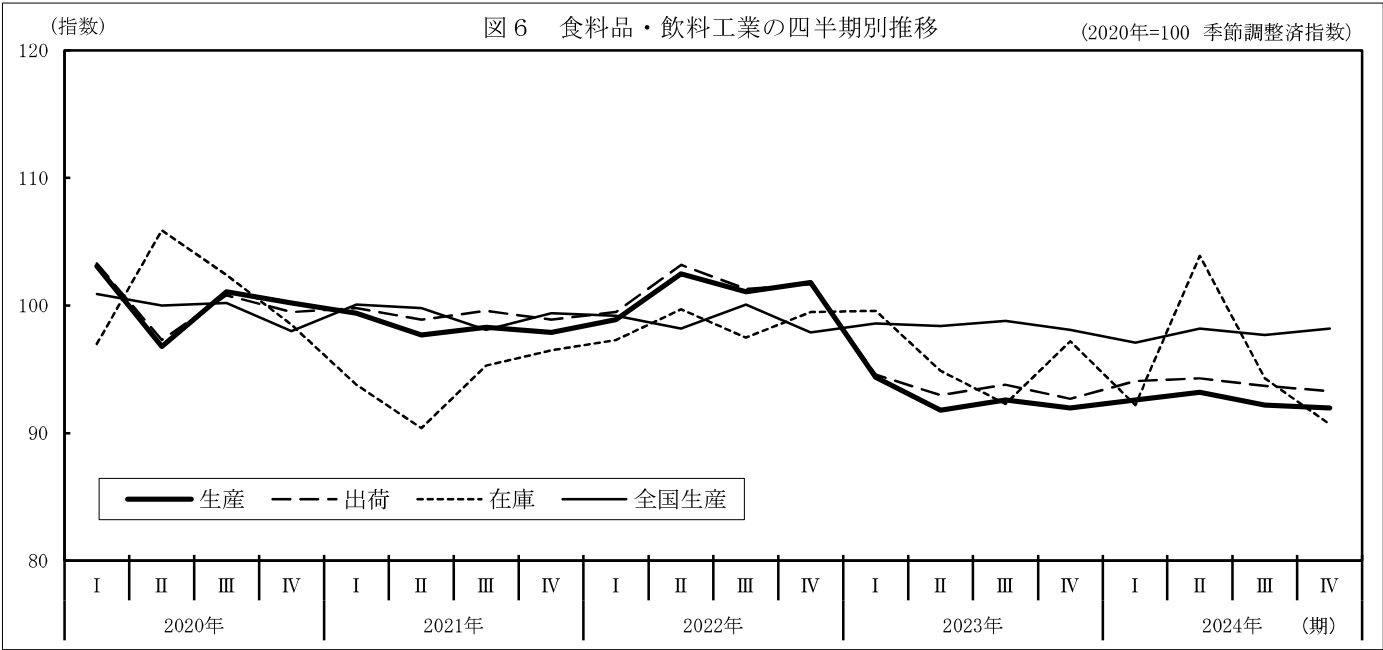
		2023年	2024年	上昇又は低下に寄与した主な品目			
				Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ
生産	指 数	106.9	108.5	107.3	107.1	106.9	112.0
	対前年(期)増減率 %	0.4	1.5	△ 2.6	△ 0.2	△ 0.2	4.8
出 荷	指 数	103.3	101.5	101.3	102.1	100.1	102.6
	対前年(期)増減率 %	△ 0.5	△ 1.7	△ 2.4	0.8	△ 2.0	2.5
在 庫	指 数	88.8	88.0	90.2	86.6	84.2	90.0
	対前年(期)末増減率 %	△ 14.0	△ 0.9	△ 1.3	△ 4.0	△ 2.8	6.9
生産	増	医薬品、身体用洗浄剤、合成ゴムなど					
	減	パラキシレン、フルオロカーボン、触媒など					
出 荷	増	医薬品、写真フィルム、メチルエチルケトンなど					
	減	純ベンゼン、キシレン、パラキシレンなど					
在 庫	増	合成洗剤、石油樹脂、触媒など					
	減	合成ゴム、漂白剤、フルオロカーボンなど					

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

*品目順は寄与度順に列記

<食料品・飲料工業>

－生産、出荷とも2年ぶりの上昇－



<生産>

生産指数(原指数)は、92.7で前年比0.1%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
四半期別(季節調整済指数)にみると、Ⅰ期は前期比0.7%上昇、Ⅱ期も同0.6%上昇、Ⅲ期は同1.1%低下、Ⅳ期も同0.2%低下しました。
品目別にみると、清涼飲料(炭酸飲料除く)や炭酸飲料などが増加し、菓子パンなどが減少しました。
また、全国の食料品・たばこ工業の生産指数(原指数)は、98.1で前年比0.2%低下し、5年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、94.0で前年比0.6%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
四半期別(季節調整済指数)にみると、Ⅰ期は前期比1.5%上昇、Ⅱ期も同0.2%上昇、Ⅲ期は同0.6%低下、Ⅳ期も同0.4%低下しました。
品目別にみると、清涼飲料(炭酸飲料除く)や植物油搾かすなどが増加し、菓子パンなどが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、85.6で前年末比7.0%低下し、2年連続して低下しました。
四半期別(季節調整済指数)にみると、Ⅰ期は前期末比5.1%低下、Ⅱ期は同12.7%上昇、Ⅲ期は同9.2%低下、Ⅳ期も同3.8%低下しました。
品目別にみると、ビール・発泡酒やチョコレートなどが減少し、あめ菓子などが増加しました。

表 8 食料品・飲料工業指数の年別・四半期別推移と上昇又は低下に寄与した主な品目

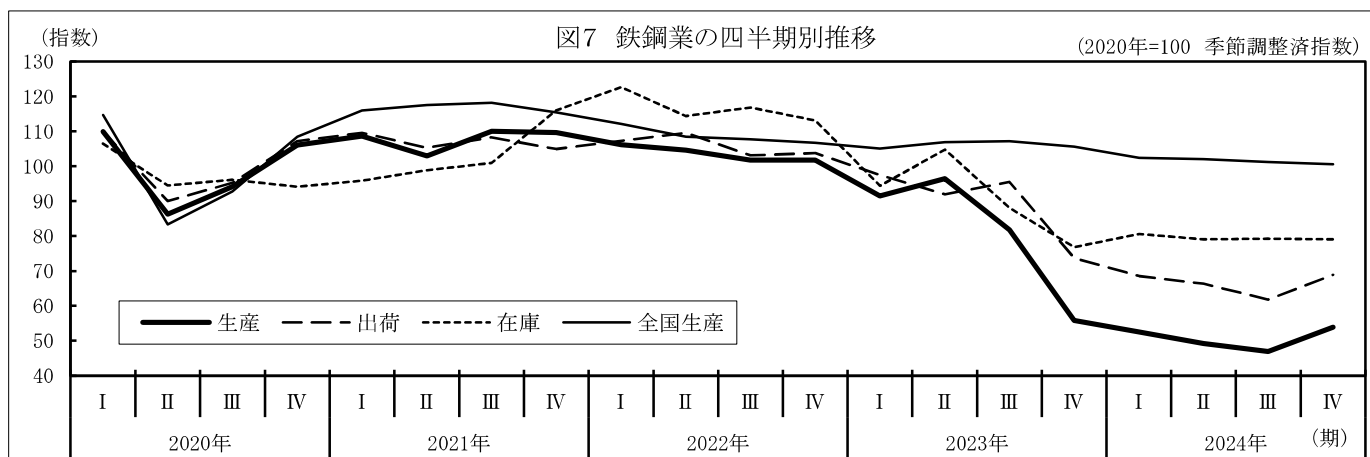
		2023年	2024年	I	II	III	IV	上昇又は低下に寄与した主な品目	
生産	指 数	92.6	92.7	92.6	93.2	92.2	92.0	増	清涼飲料(炭酸飲料除く)、炭酸飲料、あめ菓子など
	対前年(期)増減率 %	△ 8.4	0.1	0.7	0.6	△ 1.1	△ 0.2	減	菓子パン、ビール・発泡酒、焼ちゅうなど
出 荷	指 数	93.4	94.0	94.1	94.3	93.7	93.3	増	清涼飲料(炭酸飲料除く)、植物油搾かす、小麦粉など
	対前年(期)増減率 %	△ 7.9	0.6	1.5	0.2	△ 0.6	△ 0.4	減	菓子パン、ビール・発泡酒、焼ちゅうなど
在 庫	指 数	92.0	85.6	92.2	103.9	94.3	90.7	増	あめ菓子、果実酒、植物油搾かすなど
	対前年(期)末増減率 %	△ 1.6	△ 7.0	△ 5.1	12.7	△ 9.2	△ 3.8	減	ビール・発泡酒、チョコレート、ビスケット類など

* 年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数
* 品目順は寄与度順に列記

(2) その他の業種の動向

<鉄鋼業>

－生産、出荷とも3年連続の低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、50.9で前年比37.6%低下し、3年連続して低下しました。
品目別にみると、鋼半製品や普通鋼鋼帯などが減少し、特殊鋼冷間仕上鋼材が増加しました。
また、全国の鉄鋼業の生産指数(同)は、101.8で前年比4.1%低下し、3年連続して低下しました。

<出荷>

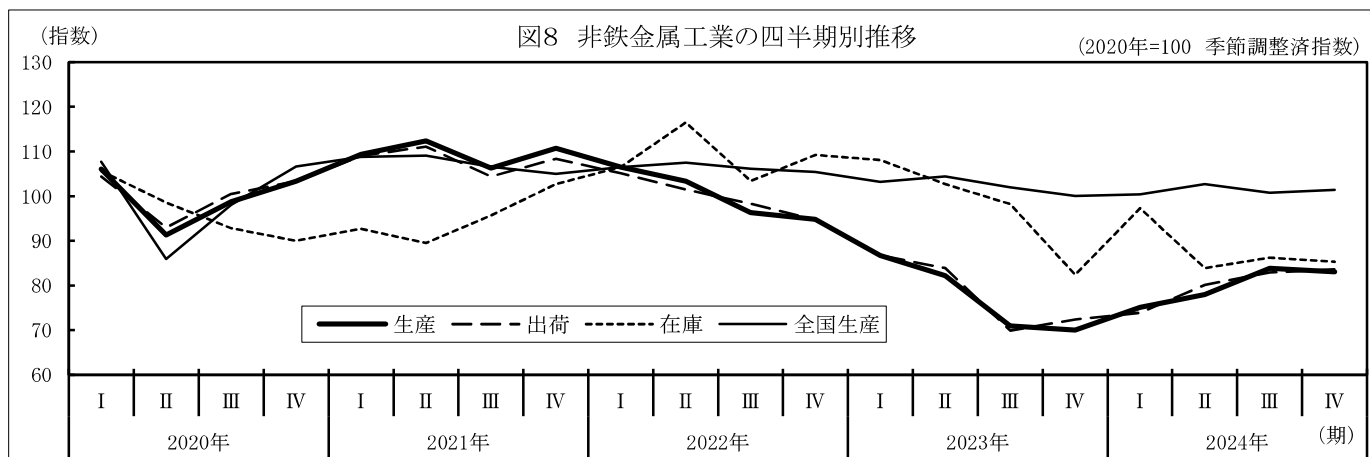
出荷指数(原指数)は、66.5で前年比25.7%低下し、3年連続して低下しました。
品目別にみると、普通鋼鋼帯や普通鋼鋼板などが減少し、特殊鋼冷間仕上鋼材が増加しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、79.8で前年末比1.7%上昇し、3年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、普通鋼鋼管や特殊鋼熱間圧延鋼材などが増加し、鋼半製品などが減少しました。

<非鉄金属工業>

－生産、出荷とも3年ぶりの上昇－



<生産>

生産指数(原指数)は、80.2で前年比3.5%上昇し、3年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、伸銅製品や光ファイバ通信用ケーブルが増加し、ダイカストなどが減少しました。
また、全国の非鉄金属工業の生産指数(同)は、101.6で前年比0.6%低下し、3年連続して低下しました。

<出荷>

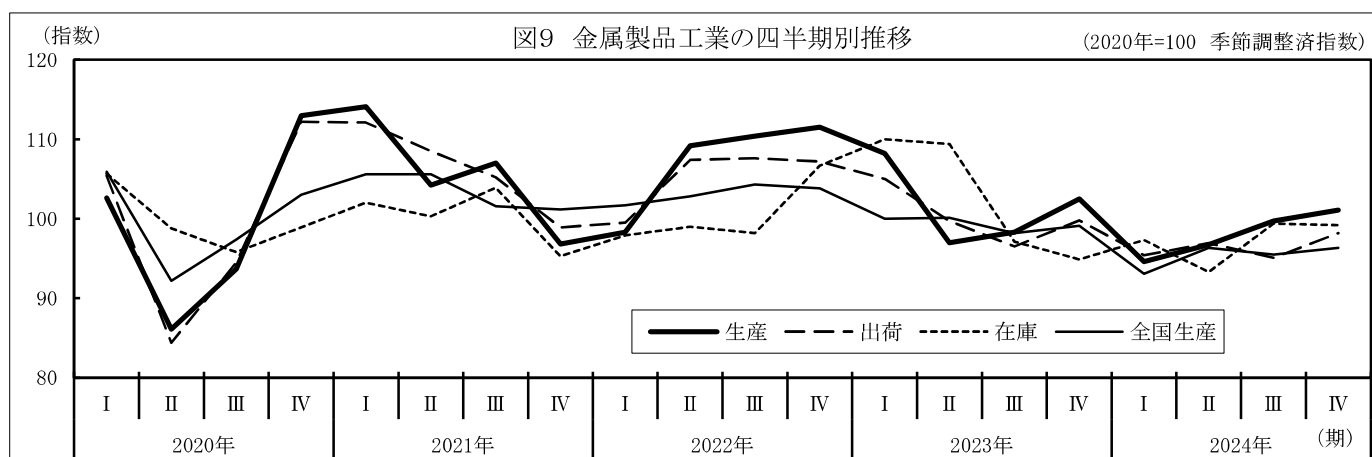
出荷指数(原指数)は、80.2で前年比2.6%上昇し、3年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、光ファイバ通信用ケーブルや伸銅製品が増加し、ダイカストなどが減少しました。

<在庫>

在庫指数(原指数)は、83.5で前年末比2.8%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、その他の絶縁電線や光ファイバ通信用ケーブルが増加し、伸銅製品などが減少しました。

<金属製品工業>

－生産は2年連続の低下、出荷は3年連続の低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、98.3で前年比3.1%低下し、2年連続して低下しました。

品目別にみると、ガス機器やばねなどが減少し、超硬チップなどが増加しました。

また、全国の金属製品工業の生産指数(同)は、95.6で前年比3.6%低下し、3年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、96.5で前年比3.6%低下し、3年連続して低下しました。

品目別にみると、ガス機器やばねなどが減少し、超硬チップなどが増加しました。

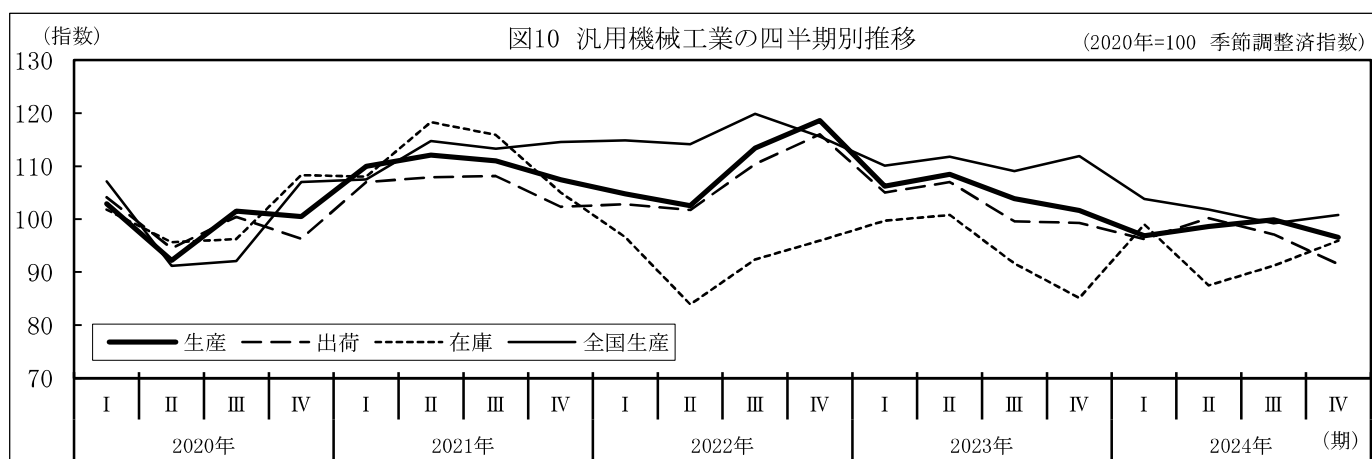
<在庫>

在庫指数(原指数)は、93.8で前年末比4.5%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

品目別にみると、石油機器やばねが増加し、缶類などが減少しました。

<汎用機械工業>

－生産は3年連続の低下、出荷は2年連続の低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、97.9で前年比6.7%低下し、3年連続して低下しました。

品目別にみると、真空ポンプや圧縮機などが減少し、一般用蒸気タービンなどが増加しました。

また、全国の汎用機械工業の生産指数(同)は、101.7で前年比7.9%低下し、2年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、96.2で前年比6.1%低下し、2年連続して低下しました。

品目別にみると、真空ポンプや油圧機器などが減少し、一般用蒸気タービンなどが増加しました。

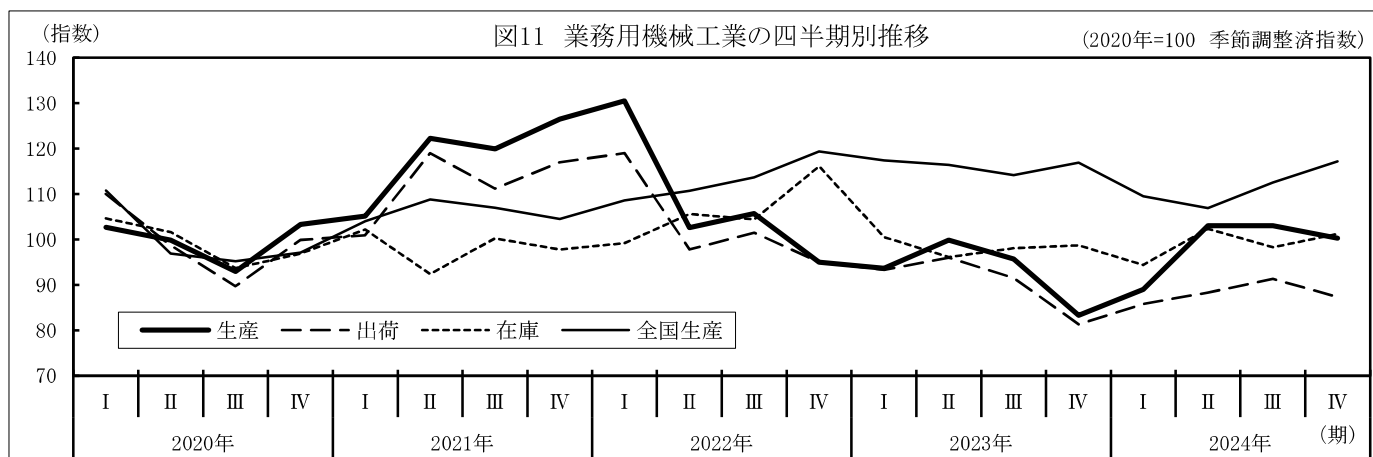
<在庫>

在庫指数(原指数)は、93.9で前年末比13.0%上昇し、4年ぶりに上昇しました。

品目別にみると、汎用内燃機関や真空ポンプが増加し、圧縮機などが減少しました。

<業務用機械工業>

ー生産は3年ぶりの上昇、出荷は3年連続の低下ー



<生産>

生産指数(原指数)は、98.8で前年比6.0%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

品目別にみると、自動販売機や分析機器などが増加し、精密測定機などが減少しました。

また、全国の業務用機械工業の生産指数(同)は、112.0で前年比3.6%低下し、4年ぶりに低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、88.4で前年比2.4%低下し、3年連続して低下しました。

品目別にみると、精密測定機や積算式ガソリン量器などが減少し、自動販売機などが増加しました。

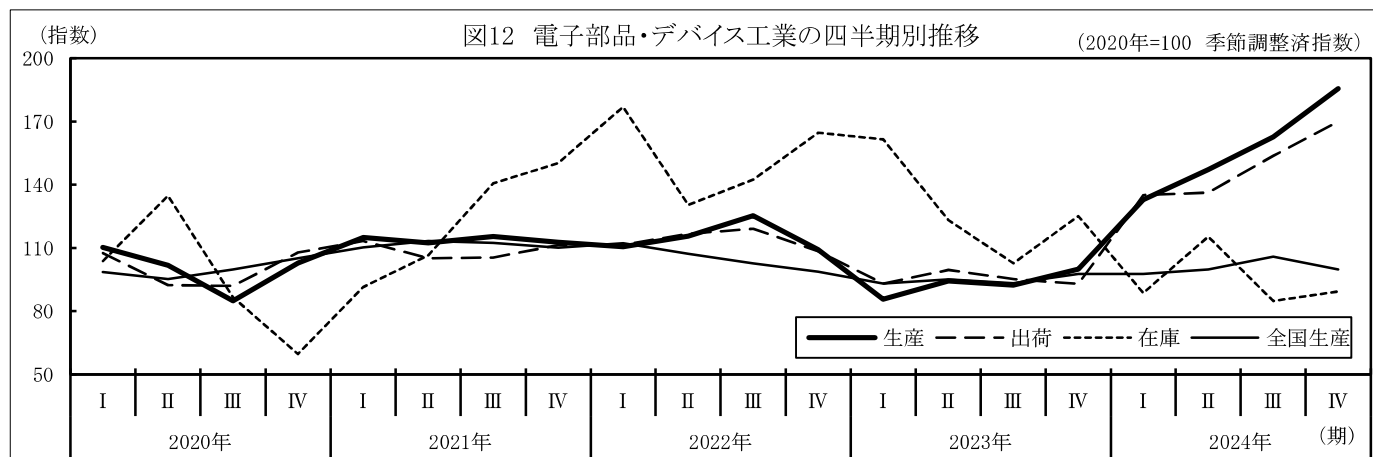
<在庫>

在庫指数(原指数)は、98.0で前年末比4.1%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

品目別にみると、精密測定機や積算式ガソリン量器が増加し、工業用計重機などが減少しました。

<電子部品・デバイス工業>

ー生産、出荷とも2年ぶりの上昇ー



<生産>

生産指数(原指数)は、157.0で前年比68.3%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

品目別にみると、レーザダイオードや電子回路実装基板などが増加し、電子回路基板などが減少しました。

また、全国の電子部品・デバイス工業の生産指数(同)は、101.1で前年比6.9%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、149.6で前年比56.5%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

品目別にみると、レーザダイオードやモス型半導体集積回路(CCD)などが増加し、トランジスタなどが減少しました。

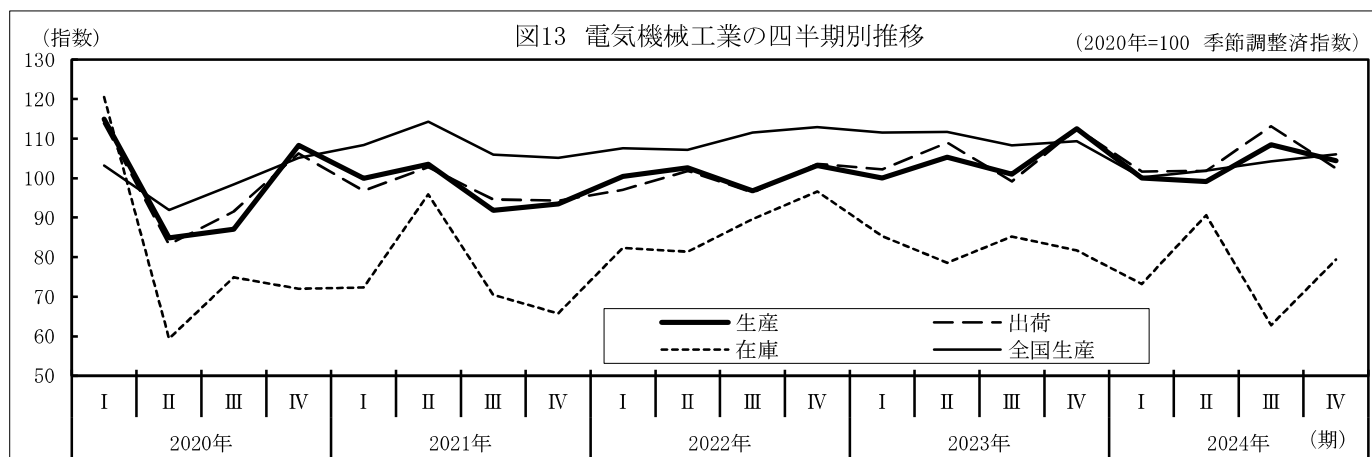
<在庫>

在庫指数(原指数)は、86.0で前年末比31.3%低下し、2年連続して低下しました。

品目別にみると、レーザダイオードやトランジスタなどが減少しました。

<電気機械工業>

－生産、出荷とも3年ぶりの低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、102.5で前年比2.0%低下し、3年ぶりに低下しました。

品目別にみると、交流発電機や非標準変圧器などが減少し、自動車用照明器具などが増加しました。

また、全国の電気機械工業の生産指数(同)は、103.4で前年比6.2%低下し、4年ぶりに低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、104.2で前年比1.2%低下し、3年ぶりに低下しました。

品目別にみると、交流発電機や非標準変圧器などが減少し、自動車用照明器具などが増加しました。

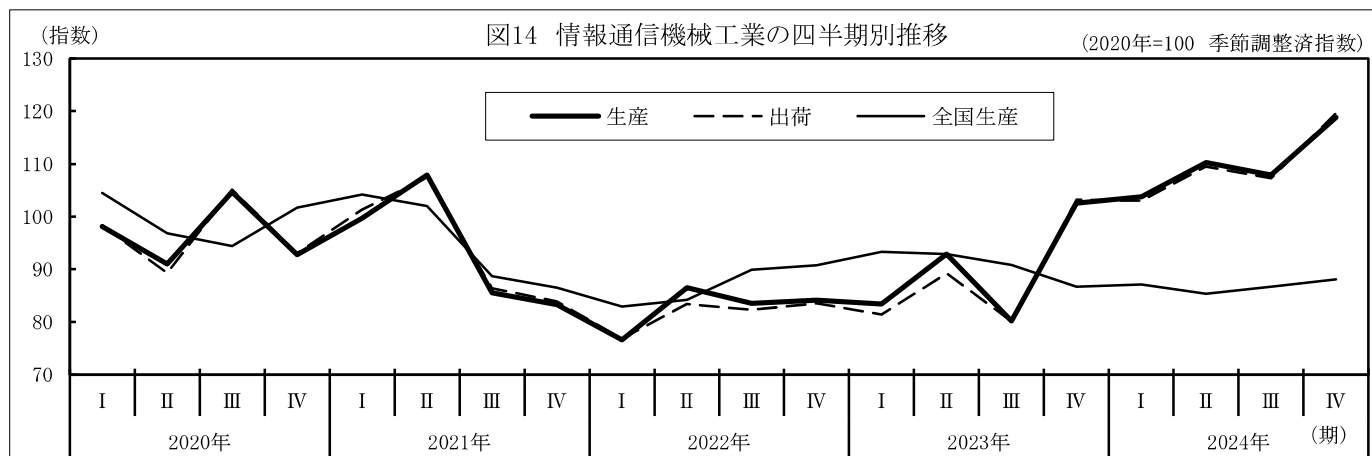
<在庫>

在庫指数(原指数)は、80.2で前年末比2.7%上昇し、2年ぶりに上昇しました。

品目別にみると、リチウムイオン蓄電池やアルカリ蓄電池が増加し、自動車用照明器具などが減少しました。

<情報通信機械工業>

－生産、出荷とも2年連続の上昇－



<生産>

生産指数(原指数)は、111.2で前年比22.6%上昇し、2年連続して上昇しました。

品目別にみると、無線応用装置や外部記憶装置などが増加し、その他の陸上移動通信装置などが減少しました。

また、全国の情報通信機械工業の生産指数(同)は、87.0で前年比4.2%低下し、2年ぶりに低下しました。

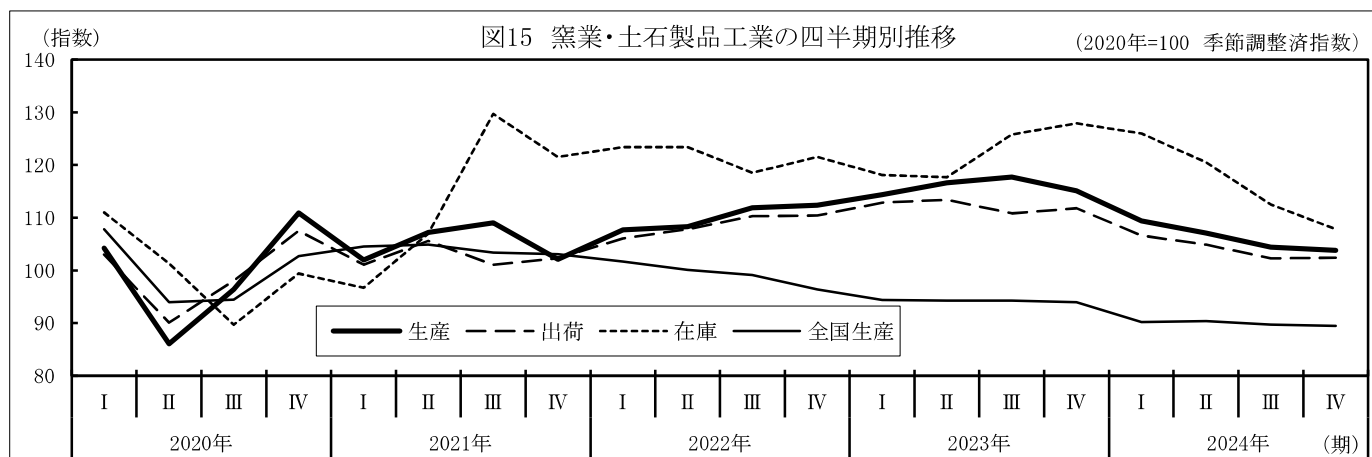
<出荷>

出荷指数(原指数)は、110.8で前年比24.1%上昇し、2年連続して上昇しました。

品目別にみると、無線応用装置や外部記憶装置などが増加し、その他の陸上移動通信装置などが減少しました。

<窯業・土石製品工業>

ー生産、出荷とも4年ぶりの低下ー



<生産>

生産指数(原指数)は、106.8で前年比7.8%低下し、4年ぶりに低下しました。

品目別にみると、安全ガラスやガラス製容器類などが減少し、電気用陶磁器などが増加しました。

また、全国の窯業・土石製品工業の生産指数(同)は、90.2で前年比4.1%低下し、3年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、104.3で前年比7.0%低下し、4年ぶりに低下しました。

品目別にみると、安全ガラスや生コンクリートなどが減少し、電気用陶磁器などが増加しました。

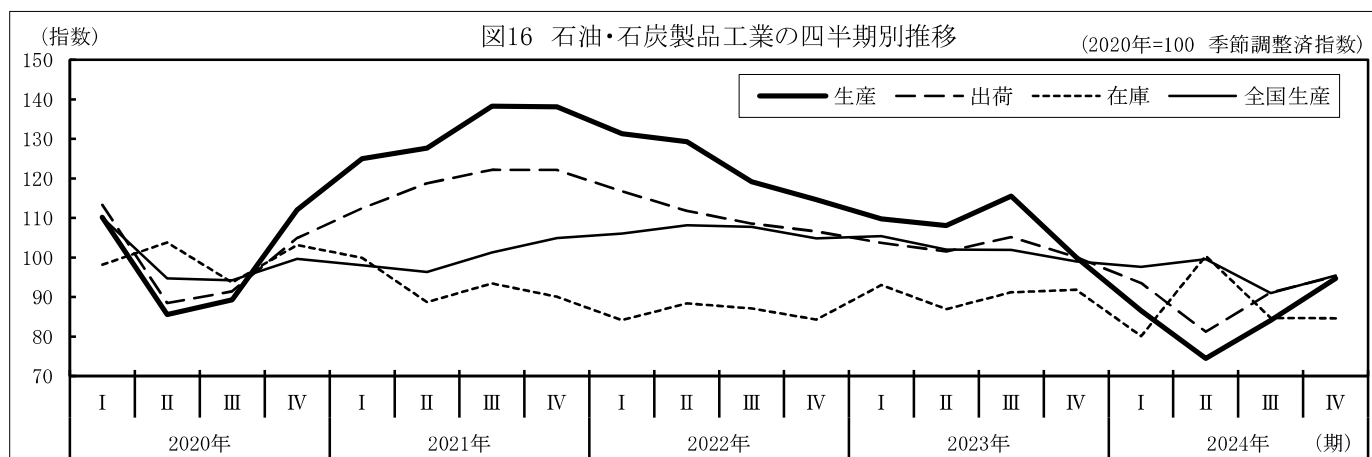
<在庫>

在庫指数(原指数)は、104.1で前年末比15.9%低下し、4年ぶりに低下しました。

品目別にみると、ガラス基礎製品やガラス製容器類などが減少し、触媒担体・セラミックフィルタなどが増加しました。

<石油・石炭製品工業>

ー生産、出荷とも3年連続の低下ー



<生産>

生産指数(原指数)は、85.9で前年比20.7%低下し、3年連続して低下しました。

品目別にみると、ガソリンや軽油などが減少し、ナフサが増加しました。

また、全国の石油・石炭製品工業の生産指数(同)は、95.9で前年比6.1%低下し、2年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、90.8で前年比11.4%低下し、3年連続して低下しました。

品目別にみると、ガソリンや精製及び混合原料油などが減少しました。

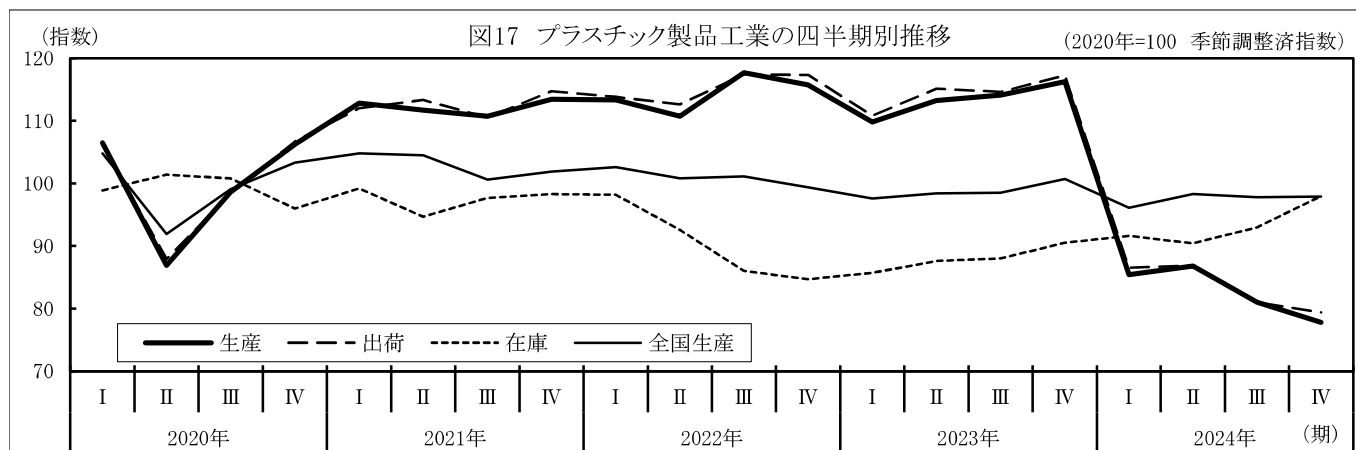
<在庫>

在庫指数(原指数)は、82.4で前年末比7.4%低下し、2年ぶりに低下しました。

品目別にみると、B・C重油や灯油などが減少し、ガソリンなどが増加しました。

＜プラスチック製品工業＞

－生産、出荷とも2年連続の低下－



＜生産＞

生産指数(原指数)は、82.9で前年比26.8%低下し、2年連続して低下しました。
品目別にみると、プラスチック製機械器具部品やプラスチック製フィルム・シートなどが減少し、日用品・雑貨プラスチック製品などが増加しました。
また、全国のプラスチック製品工業の生産指数(同)は、97.9で前年比0.9%低下し、3年連続して低下しました。

＜出荷＞

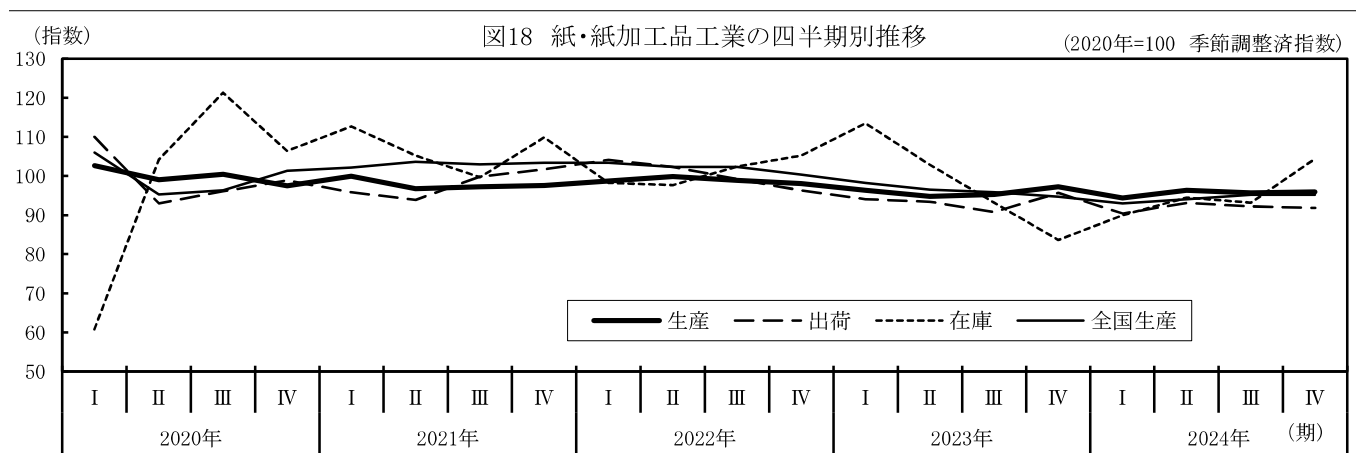
出荷指数(原指数)は、83.5で前年比26.9%低下し、2年連続して低下しました。
品目別にみると、プラスチック製機械器具部品やプラスチック製フィルム・シートなどが減少し、プラスチック製パイプなどが増加しました。

＜在庫＞

在庫指数(原指数)は、96.9で前年末比8.6%上昇し、2年連続して上昇しました。
品目別にみると、プラスチック製容器やプラスチック製機械器具部品などが増加し、プラスチック製パイプなどが減少しました。

＜紙・紙加工品工業＞

－生産は2年ぶりの上昇、出荷は2年連続の低下－



＜生産＞

生産指数(原指数)は、95.9で前年比0.2%上昇し、2年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、衛生用紙が増加し、段ボールシートが減少しました。
また、全国のパルプ・紙・紙加工品工業の生産指数(同)は、94.7で前年比1.6%低下し、3年連続して低下しました。

＜出荷＞

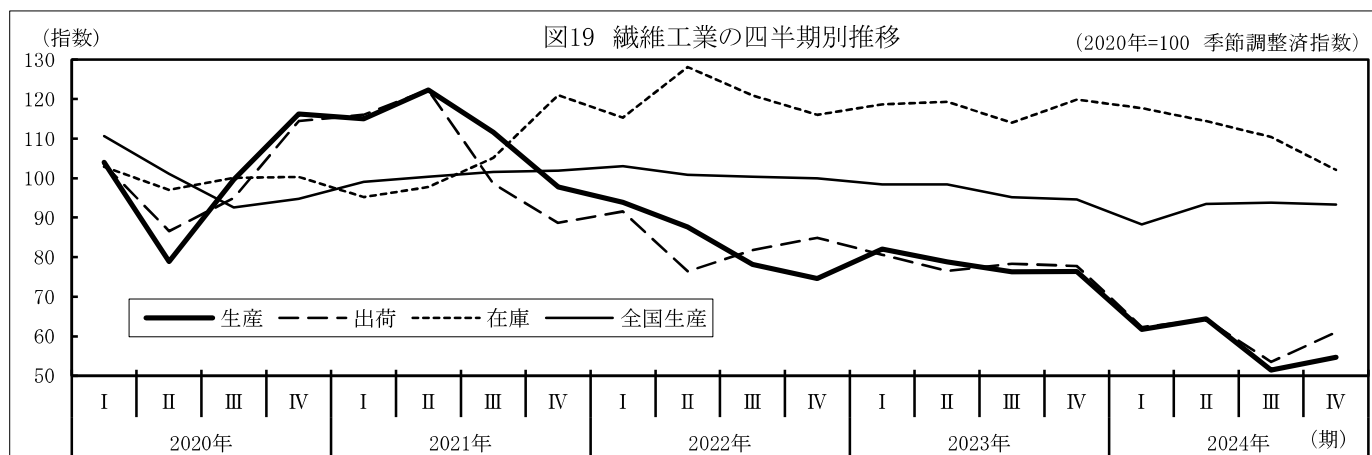
出荷指数(原指数)は、92.1で前年比1.4%低下し、2年連続して低下しました。
品目別にみると、段ボールシートが減少し、衛生用紙が増加しました。

＜在庫＞

在庫指数(原指数)は、93.0で前年末比26.0%上昇し、3年ぶりに上昇しました。
品目別にみると、衛生用紙や段ボールシートが増加しました。

<繊維工業>

ー生産、出荷とも3年連続の低下ー



<生産>

生産指数(原指数)は、58.4で前年比25.2%低下し、3年連続して低下しました。

品目別にみると、合成繊維やふとんが減少し、不織布などが増加しました。

また、全国の繊維工業の生産指数(同)は、92.5で前年比4.2%低下し、2年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、59.9で前年比23.4%低下し、3年連続して低下しました。

品目別にみると、合成繊維やふとんが減少し、不織布などが増加しました。

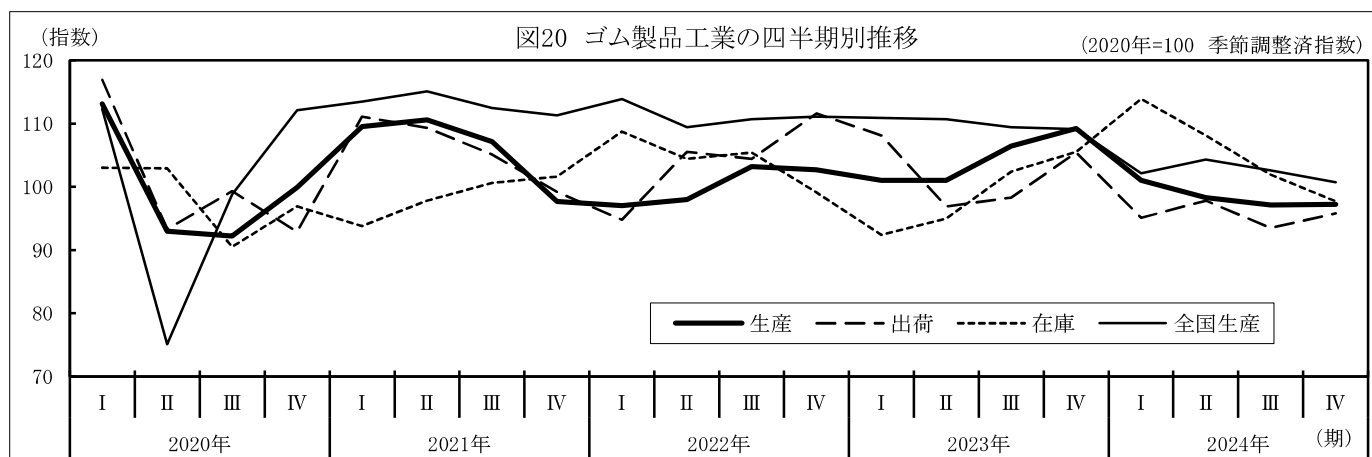
<在庫>

在庫指数(原指数)は、96.0で前年末比15.3%低下し、2年ぶりに低下しました。

品目別にみると、合成繊維やふとんなどが減少し、組みひもが増加しました。

<ゴム製品工業>

ー生産は2年ぶりの低下、出荷は3年連続の低下ー



<生産>

生産指数(原指数)は、98.5で前年比5.4%低下し、2年ぶりに低下しました。

品目別にみると、ゴムホースやコンベヤベルトが減少し、工業用ゴム製品が増加しました。

また、全国のゴム製品工業の生産指数(同)は、102.7で前年比6.6%低下し、3年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、95.6で前年比6.2%低下し、3年連続して低下しました。

品目別にみると、コンベヤベルトやゴムホースが減少し、工業用ゴム製品が増加しました。

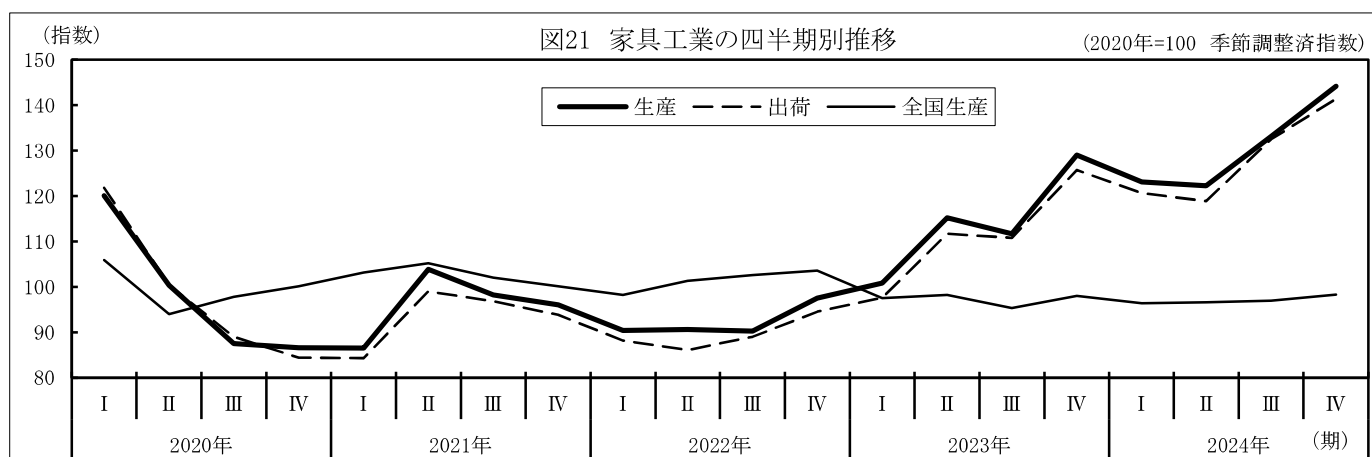
<在庫>

在庫指数(原指数)は、89.0で前年末比8.6%低下し、2年ぶりに低下しました。

品目別にみると、工業用ゴム製品やコンベヤベルトなどが減少しました。

<家具工業>

－生産、出荷とも2年連続の上昇－



<生産>

生産指数(原指数)は、131.3で前年比15.3%上昇し、2年連続して上昇しました。

品目別にみると、金属製いすやシステムキッチンなどが増加し、その他の金属製家具などが減少しました。

また、全国の家具工業の生産指数(同)は、97.4で前年比0.2%上昇し、3年ぶりに上昇しました。

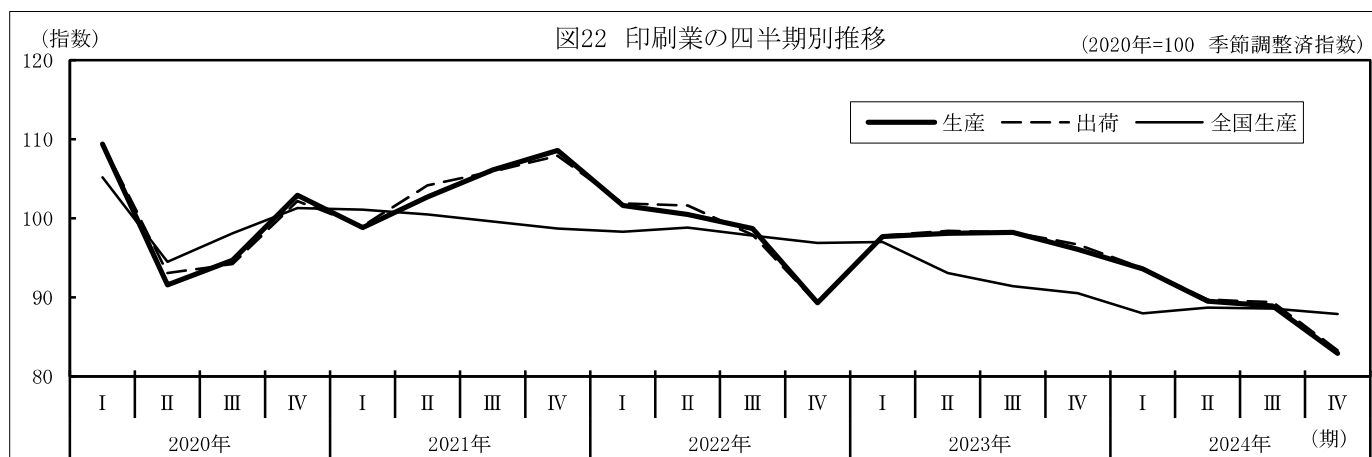
<出荷>

出荷指数(原指数)は、128.6で前年比15.6%上昇し、2年連続して上昇しました。

品目別にみると、金属製いすやシステムキッチンなどが増加し、その他の金属製家具などが減少しました。

<印刷業>

－生産、出荷とも2年ぶりの低下－



<生産>

生産指数(原指数)は、88.8で前年比8.9%低下し、2年ぶりに低下しました。

品目別にみると、オフセット印刷やその他の印刷などが減少しました。

また、全国の印刷業の生産指数(同)は、88.5で前年比4.8%低下し、9年連続して低下しました。

<出荷>

出荷指数(原指数)は、88.9で前年比8.9%低下し、2年ぶりに低下しました。

品目別にみると、オフセット印刷やその他の印刷などが減少しました。

3 財別の出荷動向

ー 最終需要財は4年連続の上昇、生産財は3年連続の低下 ー

2024年の出荷動向を特殊分類による財別でみると、最終需要財出荷指数（原指数）は、114.4で前年比0.4%上昇し、4年連続して上昇しました。

また、生産財出荷指数（原指数）は、98.0で前年比7.7%低下し、3年連続して低下しました。

これらの財を四半期別（季節調整済指数）にみると、最終需要財は、Ⅰ期は前期比3.1%上昇、Ⅱ期は同7.1%低下、Ⅲ期も同3.9%低下、Ⅳ期は同14.3%上昇しました。生産財は、Ⅰ期は前期比5.3%低下、Ⅱ期も同0.8%低下、Ⅲ期も同0.9%低下、Ⅳ期も同0.1%低下しました。

（1）最終需要財

ア 投資財（資本財・建設財）

資本財出荷指数（原指数）は、126.0で前年比2.9%上昇し、4年連続して上昇しました。

品目別にみると、無線応用装置やフラットパネル・ディスプレイ製造装置などが増加し、普通トラックなどが減少しました。

建設財出荷指数（原指数）は、99.8で前年比4.0%低下し、2年連続して低下しました。

品目別にみると、生コンクリートやガス機器などが減少し、システムキッチンなどが増加しました。

イ 消費財（耐久消費財・非耐久消費財）

耐久消費財出荷指数（原指数）は、124.4で前年比11.2%低下し、2年連続して低下しました。

品目別にみると、普通乗用車や小型乗用車などが減少しました。

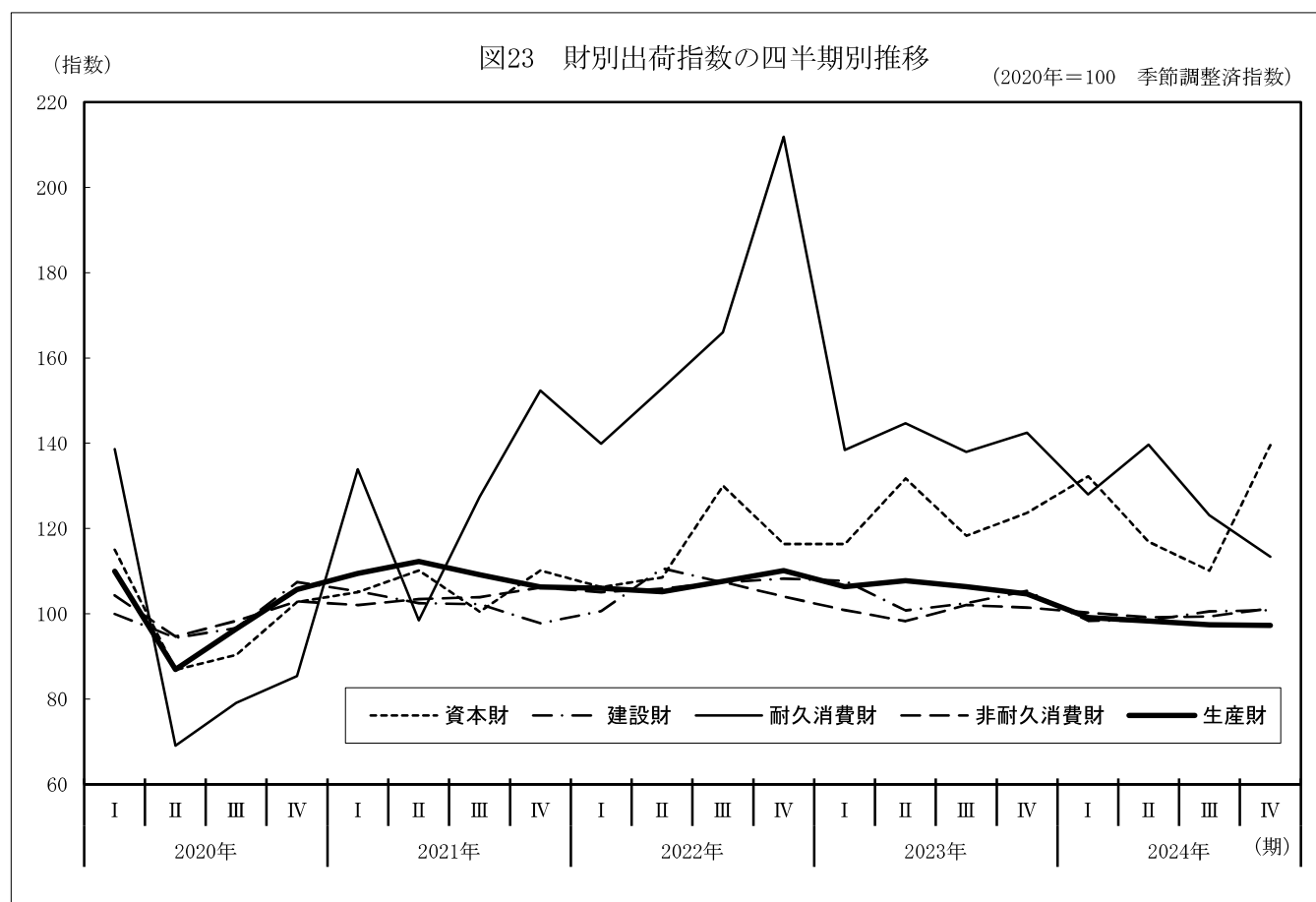
非耐久消費財出荷指数（原指数）は、100.1で前年比0.6%低下し、2年連続して低下しました。

品目別にみると、ガソリンや灯油などが減少し、医薬品などが増加しました。

（2）生産財

品目別にみると、エンジン（自動車用）やプラスチック製機械器具部品などが減少し、レーザダイオードなどが増加しました。

（P19図23、P20表9・表10 参照）



（特殊分類についてはP78、P80表11参照）

表 9 財別出荷指数の対前年・対前期増減率

(2020年=100)

財		年・期	2021年	2022年	2023年	2024年	2023年	2024 年			
							IV	I	II	III	IV
製 造 工 業	指 数		107.8	110.3	110.4	106.7	110.2	109.9	104.5	102.2	110.3
	対前年(期)増減率%		7.8	2.3	0.1	△ 3.4	0.8	△ 0.3	△ 4.9	△ 2.2	7.9
	最 終 需 要 財	指 数	106.5	113.2	114.0	114.4	115.2	118.8	110.4	106.1	121.3
		対前年(期)増減率%	6.5	6.3	0.7	0.4	2.8	3.1	△ 7.1	△ 3.9	14.3
	投 資 財	指 数	106.1	113.6	120.1	122.6	121.3	128.2	114.6	109.1	134.5
		対前年(期)増減率%	6.1	7.1	5.7	2.1	4.4	5.7	△ 10.6	△ 4.8	23.3
	資 本 財	指 数	106.8	114.6	122.5	126.0	123.7	132.3	116.9	110.1	139.6
		対前年(期)増減率%	6.8	7.3	6.9	2.9	4.6	7.0	△ 11.6	△ 5.8	26.8
	建 設 財	指 数	101.9	106.5	104.0	99.8	105.4	98.4	98.5	100.6	100.9
		対前年(期)増減率%	1.9	4.5	△ 2.3	△ 4.0	2.8	△ 6.6	0.1	2.1	0.3
消 費 財	指 数		107.0	112.6	105.3	102.9	106.4	103.5	104.0	102.1	102.4
	対前年(期)増減率%		7.0	5.2	△ 6.5	△ 2.3	0.2	△ 2.7	0.5	△ 1.8	0.3
	耐 久 消費財	指 数	129.2	165.2	140.1	124.4	142.5	128.0	139.7	123.1	113.4
		対前年(期)増減率%	29.2	27.9	△ 15.2	△ 11.2	3.3	△ 10.2	9.1	△ 11.9	△ 7.9
	非耐久消費財	指 数	104.0	105.6	100.7	100.1	101.5	100.3	99.2	99.4	101.3
		対前年(期)増減率%	4.0	1.5	△ 4.6	△ 0.6	△ 0.6	△ 1.2	△ 1.1	0.2	1.9
生 産 財	指 数		109.3	107.1	106.2	98.0	104.7	99.1	98.3	97.4	97.3
	対前年(期)増減率%		9.3	△ 2.0	△ 0.8	△ 7.7	△ 1.6	△ 5.3	△ 0.8	△ 0.9	△ 0.1

*年指数(比)は原指数、四半期指数(比)は季節調整済指数

表 10 財別出荷指数の上昇又は低下に寄与した主要品目

財		対前年増減率%	寄与度(ポイント)	上昇又は低下に寄与した主な品目	
上 昇	資 本 財	2.9	0.86	増	無線応用装置、フラットパネル・ディスプレイ製造装置、半導体製造装置など
				減	普通トラック、その他の陸上移動通信装置、機械プレスなど
低 下	生 産 財	△ 7.7	△ 3.49	増	レーザダイオード、自動車用照明器具、モス型半導体集積回路(CCD)など
				減	エンジン(自動車用)、プラスチック製機械器具部品、普通鋼鋼帯など
	耐久消費財	△ 11.2	△ 0.37	増	—
				減	普通乗用車、小型乗用車、石油機器など
	建 設 財	△ 4.0	△ 0.15	増	システムキッチン、プラスチック製パイプ、空洞コンクリートブロック
				減	生コンクリート、ガス機器、アスファルトなど
	非耐久消費財	△ 0.6	△ 0.11	増	医薬品、清涼飲料(炭酸飲料除く)、炭酸飲料など
				減	ガソリン、灯油、菓子パンなど

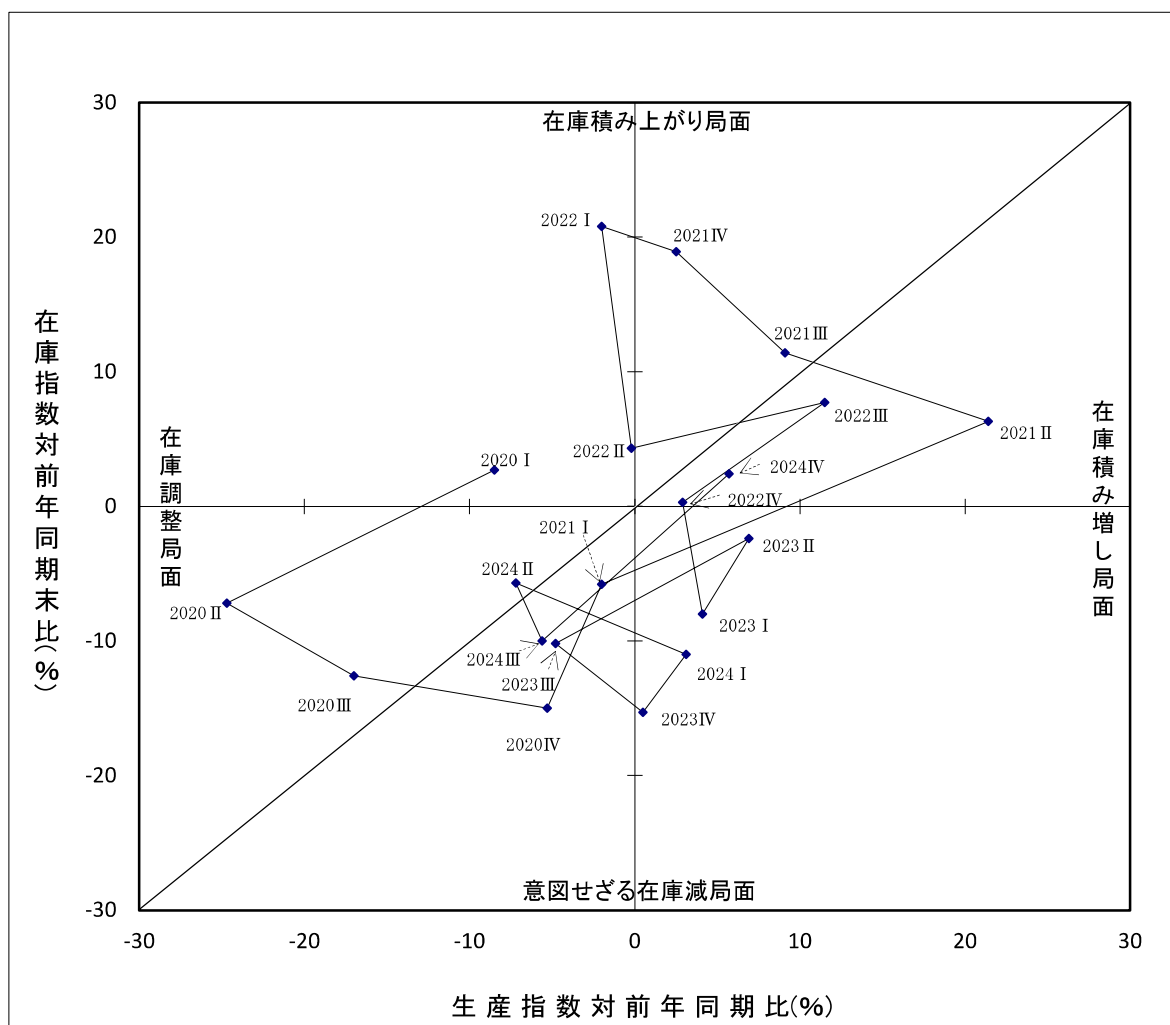
＜参考＞在庫循環図

2024年Ⅰ期の生産指数(原指数)は前年同期比3.1%上昇し、在庫指数(同)は前年同期末比11.0%低下しました。Ⅱ期の生産指数(同)は前年同期比7.2%低下し、在庫指数(同)は前年同期末比5.7%低下しました。Ⅲ期の生産指数(同)は前年同期比5.6%低下し、在庫指数(同)は前年同期末比10.0%低下しました。Ⅳ期の生産指数(同)は前年同期比5.7%上昇し、在庫指数(同)は前年同期末比2.4%上昇しました。

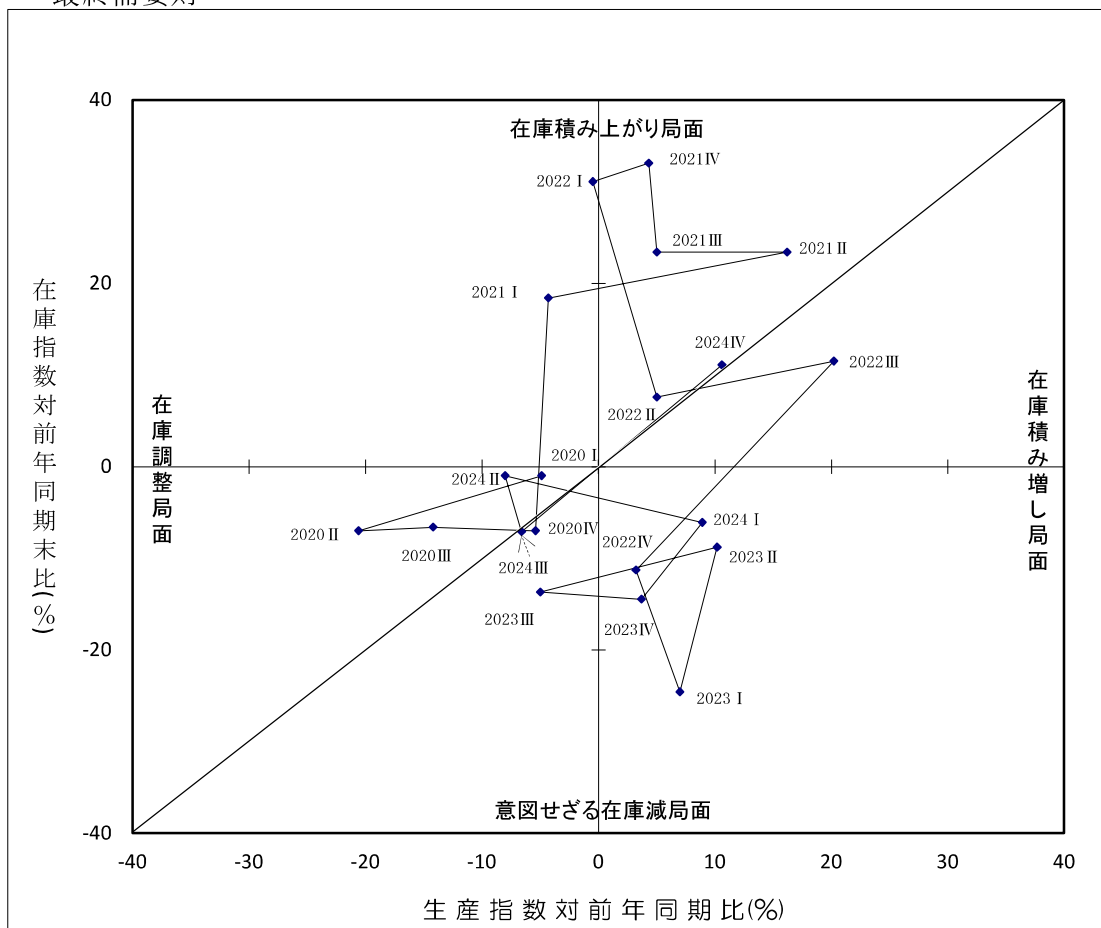
※在庫循環図の見方(生産と在庫について、以下のような循環がみられる場合が多い。)

- 意図せざる在庫減局面: 需要が予測を上回り、一時的に在庫が減少する。
- 在庫積み増し局面: 生産を増加させて、在庫を積み増している。
- 在庫積み上がり局面: 需要が予測を下回り、在庫が積みあがってしまう。
- 在庫調整局面: 生産を縮小し、積みあがった在庫を減らしている。

製造工業



最終需要財



生産財

